

農政課

課長 中村 尚文

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	親子農業体験教室事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	親子農業体験教室事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H22 ～
親子での共同作業により、「自然とのふれあい」や「収穫の喜び」を感じ、広く学ぶことを通じて農業への理解を深め、農業の応援団となってもらう。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 実施内容
市内3団体に事業委託し、おおむね5～12月頃まで、月2回程度の農業体験教室を市内で開催する(全体での参加親子数 39組)
(1) 島内地区(みどりの風、参加15組) 農業体験、草取り、収穫祭、松飾づくり等
(2) 今井地区(子どもが輝く食育ネットワーク松本、参加7組) 農業体験、草取り、収穫祭、豆腐作り、味噌づくり等
(3) 中山地区(中山東花園、17組) 農業体験、草取り、収穫、引き馬体験、そば打ち、餅つき等

＜現状に対する認識＞

地区公民館で行う食育の講座との差別化やリピーターを増やすのではなく、ステップアップして農業実践者に進める仕掛けづくり等、広げる制度設計が必要

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事業を契機に農業や食について更に興味が高まったと答えた親子の割合				
目標値	80.00%	84.50%	89.00%	93.50%	98.00%
実績値	95.00%				
達成度	118.8%				
② 成果指標(指標名)	事業を契機に食への行動変化や農業実践等の変化が起きた親子の割合				
目標値	60.00%	65.00%	70.00%	75.00%	80.00%
実績値	データなし(追跡調査)				
達成度	—				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,732				
国・県					
利用者負担金	234				
その他					
一般財源	1,498				
② 人件費(千円)	855	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	2,587				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	健康生きがい市民農園事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	1	だれもが健康でいきいきと暮らすまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	1	健康を大切にすするまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	112	心の健康づくりの推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	健康生きがい市民農園事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

- ・農作業体験を通じて、農業に対する理解を深め、遊休農地の活用を図るため。
- ・高齢者等の健康づくり及び生きがいづくりを図るため。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

市で設置した市民農園の施設管理

- ・体験市民農園 市内21箇所(564区画)
- ・簡易オートキャンプ設備付き市民農園 内田地区1箇所(17区画)
- ・健康生きがい市民農園 市内2箇所(20区画)

＜現状に対する認識＞

平成29年度より所有者の申し出により1箇所が閉園となったが、利用者数はほぼ平行線をたどっており、今のところ市民農園を増やす計画はない。空き区画が発生しないよう、周知を図る。

栽培指導会(6～10月、月1回開催)開催日が雨天となったこともあり、参加者数が少なかったため、対応をどのようにするか検討する。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用区画数(区)					
	目標値	601	576	576	576	576
	実績値	597				
	達成度	99.3%				
② 成果指標(指標名)	栽培指導会参加者数(農園利用者数×開催回数)					
	目標値	120	120	120	120	120
	実績値	40				
	達成度	33.3%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,416				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	1,416			
② 人件費(千円)	2,194	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	1,425	0.5		
合計コスト①+②	3,610				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	農業振興地域整備計画管理 ①
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農業振興地域整備計画管理費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
<p>優良な農地を農用地区域として積極的に確保・保全し、本市の農業振興を図るもの。経済事情の変動等で生じる優良農地への開発計画(農振除外申請)等に対し、営農環境の保全等に留意した適切な土地利用を図りながら、概ね5年毎に農業振興を趣旨として全市的な土地利用等の見直しを実施し、農振計画を適正に管理する。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>農業振興地域整備計画の変更、見直し等の調査、協議等を年2回実施した。</p> <p>1 第1回農業振興地域整備計画変更 (1) 申請受付期間 平成28年4月11日から4月25日 (2) 受付件数・筆数 9件11筆(除外申請7件8筆、編入申請2件3筆) (3) 現地調査 5月23日 (4) 松本市農振協議会 8月1日 (5) 計画変更公告 平成29年1月31日 (6) 計画変更面積 除外1,702.57㎡、編入1,514.00㎡</p> <p>2 第2回農業振興地域整備計画変更 (1) 申請受付期間 平成28年10月3日から10月17日 (2) 受付件数・筆数 7件10筆(全て除外申請。ただし1件2筆は取下げ) (3) 現地調査 11月7日 (4) 松本市農振協議会 平成29年1月24日 (5) 計画変更公告 9月上旬を予定 (6) 計画変更面積 未確定</p> <p>3 総合見直し (1) 5年に1度実施。 (2) 農業振興施策や今後優良農地として保全する区域を明確化して、農振計画を見直すもの。 (3) 平成28年度は見直し最終年度のため、印刷費680千円。</p>

＜現状に対する認識＞
<p>農業振興地域整備計画の管理により、優良農地を適正に保全することが、農業生産基盤や、効率的な農業経営の維持に必要であり、農業振興と農地開発計画との調整は、利害関係を含むことから、行政による公平な視点が必要。今後とも、地区の農業従事者、町会関係者、農業委員会等から意見をいただきながら、計画の適正な管理を進める。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	農振農用地面積(ha)				
目標値	7,591	7,584	7,508	7,433	7,359
実績値	7,525				
達成度	99.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	616				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	616				
② 人件費(千円)	15,923	人工	人工	人工	人工
正規	13,073	1.7			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	16,539				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	農業振興地域整備計画管理 ②
-------	----------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農業振興地域整備計画管理費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	住みやすさを感じるまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	331	調和した土地利用の推進	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
<p>優良な農地を農用地区域として積極的に確保・保全し、本市の農業振興を図るもの。経済事情の変動等で生じる優良農地への開発計画(農振除外申請)等に対し、営農環境の保全等に留意した適切な土地利用を図りながら、概ね5年毎に農業振興を趣旨として全市的な土地利用等の見直しを実施し、農振計画を適正に管理する。</p>		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>農業振興地域整備計画の変更、見直し等の調査、協議等を以下のとおり実施しました。</p> <p>1 農振除外申請等に基づく農振計画の変更(毎年度2回実施) ＜申請受付→地区協議会→市農業委員会→市農振協議会→県へ協議→完了＞ 申請に対し、各地区及び市農業委員会から意見を伺い、市農振協議会にて申請の適否を判断し、市民への農振計画変更案縦覧後、県知事同意を受けて完了します。 平成28年度は14件、5,627㎡を農振除外しました。</p> <p>2 農振計画の総合的な見直し(概ね5年に1度実施) 農業振興施策や今後優良農地として保全する区域を明確化して、農振計画を見直すものです。 平成28年度は見直し最終年度のため、印刷費680千円を計上しました。</p>

＜現状に対する認識＞
<p>農業振興地域整備計画の管理により、優良農地を適正に保全することが、農業生産基盤や、効率的な農業経営の維持に必要であり、農業振興と農地開発計画との調整は、利害関係を含むことから、行政による公平な視点が必要。今後とも、地区の農業従事者、町会関係者、農業委員会等から意見をいただきながら、計画の適正な管理を進める。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	農振農用地面積(ha)				
目標値	7,591	7,524	7,523	7,522	7,521
実績値	7,525				
達成度	99.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	616					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	616					
② 人件費(千円)	15,923	人工	人工	人工	人工	人工
正規	13,073	1.7				
嘱託	2,850	1				
合計コスト①+②	16,539					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	一般事務(農林業まつり)
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本製品のブランド化

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	一般事務費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

農林業まつり(負担金)
 農林業まつりの実施負担をし、地場農畜林産物の消費拡大や地産地消の理解促進、観光農業の推進を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

○ 第51回松本農林業まつり開催概要

- アルプスりんごオーナー事業
 - オーナー数 745名(今井、寿地区)
 - 収穫来園者数 約3,000名
- アルプスぶどうオーナー事業
 - オーナー数 30組(里山辺地区)
 - 収穫祭参加者 約100名
- 花き展と農畜林産物消費宣伝事業(あがたの森会場)
 - 出展数 35ブース
 - 来場者数 約5,000名
- その他 協賛イベント

＜現状に対する認識＞

今後の農林業まつり(消費宣伝活動)のあり方について事務局や実行委員会で検討を進める。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	農林業まつり来場者数					
目標値	8,100	8,100	8,100	8,100	8,100	
実績値	8,143					
達成度	100.5%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,300				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,300				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	4,607				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	多目的研修センター管理
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○町会との協働による支えあえる地域づくり
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	1 健康とくずなづくり	
—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	多目的研修センター管理

<事業の狙い>

事業計画年度	～
施設利用時の快適性向上に寄与し、農業及び農村の健全な発展を図る。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 光熱水費等の施設管理費の支払い
2 施設の清掃及び運営管理委託

<現状に対する認識>

昭和59年度に建築されてから30年以上が経過し、施設の老朽化が進み維持管理費が増大している。地元住民は隣の新村公民館を利用しており、今後、本当に必要な施設かどうか検討していく必要がある。

<指標の達成状況>

		総合評価		C		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	新村多目的研修センターの利用者数					
	目標値	8,000	8,000	8,000		
	実績値	5,675				
	達成度	70.9%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	488				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	488			
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	285	0.1		
合計コスト①+②	1,542				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農作物等災害緊急対策事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農作物等災害緊急対策事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
農作物被害に対する再生産を確保するため、農業制度資金の借入者に、利子助成するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>農作物等災害資金</p> <p>(1) H21凍霜及び降ひょう災害対策資金:10年償還(14件、159,897円) 期間:H21～30年度</p> <p>(2) H25凍霜害対策資金(28件、351,812円) 期間:H25～29年度、5年間</p> <p>(3) H26、2月大雪資金(2件、18,166円) 期間:H26～32年度</p>

＜現状に対する認識＞
被害を受けた農業者等の農業経営の安定を図るため、今後も行政支援は必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	529					
国・県	186					
利用者負担金						
その他						
一般財源	343					
② 人件費(千円)	570	人工	人工	人工	人工	人工
正規	0					
嘱託	570	0.2				
合計コスト①+②	1,099					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域等直接支払推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	27～
--------	-----

中山間地域等における農業活動の維持と通じ、耕作放棄地発生を防止、多面的機能を確保するとともに、平地地域との農業生産条件の均整を直接的に補正するもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 中山間地域直接支払交付金(旧市及び四賀)

(1) 実施内容

ア 対象地域 8法地域及び特認地域

イ 対象農用地 対象地域内における1ha以上の一団の農用地で一定基準以上の傾斜要件を満たす農用地。

ウ 交付要件 集落協定の締結したうえ、5年以上継続して農業生産活動を実施する集落において、活動レベルに応じた単価により交付金を交付する。

(2) 実績

本郷地区 8集落
 中山地区 19集落
 内田地区 1集落
 四賀地区 16集落

2 基準検討会
 今年度は行わない。
 4期最終年度の31年度に開催予定。

＜現状に対する認識＞

各集落の耕作放棄地の発生が防止されている。また、水路や法面、農道などの多面的機能も協定に基づく活動により確保されている。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	中山間地域等直接支払交付金(ha)					
目標値	199	242	242	242	242	
実績値	242					
達成度	121.6%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	35,004				
国・県	25,037				
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,967				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	35,773				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	四賀地区農業振興関連施設管理
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	3 地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○地域づくりの担い手の育成
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀地区農業振興関連施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

働く場所を提供し、農家の就業機会の確保により地域の活性化を図る。また、農業者等の交流及び福祉の増進を図るための施設の維持管理を行うもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 什器等、設備の老朽化による修繕は、使用者により行うこととした。
- 2 四賀集会施設の譲渡の申入れがあり、用途廃止をした。
(七嵐多目的集会施設 1件)
- 3 利用者が少ない農業体験施設の電気とガスを止め使用制限を開始。地主へ建物の取壊しと土地の返還を申入れ、理解を得る。
(平成29年度の予算化ができなかったため、30年度取壊し予定)

＜現状に対する認識＞

補助金等適正化法の期限が切れた施設から、払下げ等を行っていく。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設の通年利用者の確保					
	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	692				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	692			
② 人件費(千円)	285	人工	人工	人工	人工
	正規	0	0		
	嘱託	285	0.1		
合計コスト①+②	977				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	③松本産品のブランド化

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
農業振興関係機関と連携をして取り組むもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 農業技術者連絡協議会 50千円 管内農業等の発展に寄与するため、相互に意見交換を行い、災害等の調査、統一した技術指導にあたる。 2 農業開発センター 100千円 3 長野県農産物等輸出事業者協議会 40千円 4 「おいしい信州フード(風土)」松本地域活動協議会 100千円 5 消費拡大事業 (1) 内容 松本市、JA松本市、JA松本ハイランドが消費拡大フェアなどへの経費を負担するもの (2) H28実績 1,000千円

＜現状に対する認識＞
本市における農業振興における必要な関係機関への必要最小限の負担としている。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		1,187				
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源		1,187				
② 人件費(千円)		7,690	人工		人工	
正規		7,690	1			
嘱託		0				
合計コスト①+②		8,877				
前年度比		—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	補助金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

農業経営者等の経営基盤を強化するため、認定農業者等の担い手に対する金融面を支援して農業振興を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- スーパーL資金(農業経営基盤強化資金)利子補給金
農業経営改善計画の認定を受けた個人又は法人で経営規模拡大や効率化を図ることを目的に日本政策金融公庫から融資を受けた者に対して借入利子の一部を補助するもの。(H28:54件)
- 農業近代化資金利子補給の補助金
農業者との農業近代化に役立つ整備拡充のために融資を行った融資機関に対して助成するもの。(H28:8件)

＜現状に対する認識＞

農業資金制度は、関係法令等に基づき、県や市が農協や日本政策金融公庫等と協力して、農業経営者の経営安定化等を図る助成制度であるため、今後も引き続き助成する必要がある。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,172				
	国・県	506			
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	1,666				
② 人件費(千円)	855	人工	人工	人工	人工
	0	0			
	855	0.3			
合計コスト①+②	3,027				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農畜産物マーケティング推進事業
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本産品のブランド化

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農畜産物マーケティング推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H16 ～
--------	-------

松本の農産物のブランド化、販路拡大等の取組みにより、経済の健康・地域の健康につなげる。地元産食材への理解を深め、地産地消を推進することによって人の健康、地域の健康、経済の健康につなげる。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 大消費地等での消費宣伝・トップセールス
出展回数 16回
- 農産物の高付加価値化・ブランド化・PR
成分分析2品目54検体
- 地産地消食育推進事業
カレンダー配布数 600部
地産地消食育推進事業件数 11件(参加児童等延べ7,996人)
- 地産地消推進会議・懇談会の開催
会議年3回、懇談会年1回
- 地産地消アンテナショップの多目的活用

＜現状に対する認識＞

消費宣伝については、消費者へのアピールだけではなく、販路拡大となるバイヤーをターゲットにした戦略が不足している。
農産物の高付加価値化、ブランド化については商品化に至っていない状況でありスピード感が必要。
地産地消についてはイベント型ではなく、どうやったら地産地消が進むのか、目的にマッチした仕掛けづくりを行う必要がある。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		C		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	野菜の機能性等新たなブランド販売を行う店舗数					
	目標値	0	1	2	5	10
	実績値	0				
	達成度	-				
② 成果指標(指標名)	地産地消推進の店登録件数					
	目標値	110	117	124	132	140
	実績値	113				
	達成度	102.7%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	13,873				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	13,873			
② 人件費(千円)	16,321	人工	人工	人工	人工
	正規	14,611	1.9		
	嘱託	1,710	0.6		
合計コスト①+②	30,194				
前年度比	-				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	家族団らん手づくり料理を楽しむ日推進事業
-------	----------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	③松本産品のブランド化

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	家族団らん手づくり料理を楽しむ日推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H18 ~
日常生活ではバラバラになりがちな食事をみんなで楽しめるよう家族団らんの機会をつくって食について考えてもらうことで、家族のもつ社会的機能の回復や食生活の改善等につなげる。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 食育月間にあわせた松本地域産農産物の市内全小学校への配布 5月下旬~7月中旬 30校 配布数約13,500個
2 松本市産農産物を食材として使用した「レシピ集」の作成及び配布 春夏編 3600配布
3 日本型食生活普及事業「おにぎりチャレンジ隊」による一般市民への推進 出展回数 13回
4 地域伝統野菜・郷土食をテーマにした日本型食生活料理講習会の実施 年1回 19人参加
5 小学校向けカレンダー印刷 1000部配布(学級、職員室等)

＜現状に対する認識＞
事業の狙いと具体的な取組みとがマッチングしているものかの点検及び見直しが必要

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	児童へ配布した農産物を自宅で家族そろって食べた児童割合				
目標値	66%	67%	68%	69%	70%
実績値	86.80%				
達成度	131.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,443					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,443					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	4,750					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	6次産業化支援事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本産品のブランド化

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	6次産業化支援事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H25	～
--------	-----	---

農産物の付加価値を高めるために、生産・加工・販売を一体で取り組む6次産業化を総合的に支援し、産業力の向上や地域の活性化につなげる。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 6次産業化に係る経費の補助
 (1) 内容 人材育成、商品開発、販路開拓、施設整備等の利子補給
 (2) 実績 1件

＜現状に対する認識＞

農業者から声を上げる例は少なく、申請件数も伸び悩んでいることから、消費者に近い事業者には制度の存在自体を知ってもらう取組みや行政が人と人とを結びつけるマッチング、コーディネートを積極的に進める必要がある。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		C		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	補助事案件数(単年度)					
目標値	2	2	2	2	6	
実績値	1					
達成度	50.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	15				
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	1,069				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農林漁業体験実習館管理
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6	大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	市長公約	主な取組み	○新たな観光戦略の策定と政策展開		
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	②高次広範の観光戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林漁業体験実習館管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

利と農村の交流を通じ、農業及び農村の健全な発展を図り、地域文化の伝承に寄与する。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 光熱水費等の施設維持費の支払い
- 施設及び公衆便所の清掃等委託

<現状に対する認識>

施設設置当時の方針により地元の陶芸や太鼓練習に利用されており、新たな利用者獲得が難しい状況。

<指標の達成状況>

		総合評価		C		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	農林漁業体験実習館の利用件数					
	目標値	400	500	600		
	実績値	352				
	達成度	88.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	955				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	955			
② 人件費(千円)	1054	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	285	0.1		
合計コスト①+②	2,009				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	クラインガルテン関連施設管理
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○新たな観光戦略の策定と政策展開
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	クラインガルテン関連施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

クラインガルテンを利用する都市の住民と四賀地区の住民との交流による地域の活性化及び美しい景観と環境を活かした魅力ある地域を創造する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 坊主山クラインガルテン52区画、緑ヶ丘クラインガルテン78区画の公募による利用率100%が、毎年達成できる管理業務の推進
- 2 施設の老朽化に伴う改修工事を、毎年度計画的に施工
(緑ヶ丘クラインガルテン休憩施設外壁塗装30棟・外灯ポール塗装23本)

＜現状に対する認識＞

全国で60カ所以上のクラインガルテンが整備されており、開園当時に比べ利用希望者が減少している。施設整備の他、独自の取組みのPR活動に努める。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	クラインガルテンの利用率					
	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	66,544				
	国・県				
	利用者負担金	45,513			
	その他	21,031			
	一般財源				
② 人件費(千円)	1,339	人工	人工	人工	人工
	正規	769	0.1		
	嘱託	570	0.2		
合計コスト①+②	67,883				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農村広場管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	6	ともに学びあい人と文化を育むまち	市長公約	公約	1 心と体の健康づくりと、安心な医療福祉など、健康を支える社会を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	文化・スポーツで魅力あふれるまち		主な取組み	○市民一人ひとりの健康づくりを支援
基本施策(個別目標)	632	スポーツの振興		5つの重点目標	1 健康ときずなづくり
—	—	—	松本版総合戦略	①健康・医療産業の創出・育成	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村広場管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
農業者等の体力づくり、コミュニティーづくり及び農業振興を図る。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業目的	農政課で設置した農村広場等の施設管理及び修繕を行うもの
2 事業箇所	農村広場(新村、神林、稲倉ふれあい広場、穴沢運動公園) 農村公園(田溝池農村公園、芥子坊主農村公園) 公衆便所(檜沢温泉、新村農村広場、田溝池農村公園)

<現状に対する認識>

平日、冬期間の利用率が低い。また雨や雪が降った際、使用できない期間が発生し利用者に不便を強いている。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	21,011				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	21,011				
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工
	769	0.1			
	285	0.1			
合計コスト①+②	22,065				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	農業者育成事業
-------	---------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

- 市民の生きがいづくりと、農業の担い手の育成を、JA等と協力して研修等を実施するもの。
- 新規就農者等の育成により農業の担い手を確保するとともに、営農機械購入等への支援を行うことで、安定的かつ効率的に本市の営農活動が行われるよう支援するもの。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 負担金
 - 松本熟年農業大学
 - 内容 概ね65歳以下の市民を対象に、JAと協力し、野菜の栽培実習等を実施するもの
 - 負担割合 市1/2、JA1/2
 - H28実績 18人(36千円負担)
 - ほか、地域営農リーダー育成塾など
- 補助金
 - 認知農業者支援事業
 - 内容 認定農業者等へ農業機械等費用の一部を補助するもの
 - 補助率 1/3以内、上限200万円
 - H28実績 5件(7,916千円補助)
 - 新規就農者等支援事業
 - 内容 新規就農者を対象に、農業機械等費用の一部を補助するもの
 - 補助率 1/2以内、上限50万円
 - H28実績 4件(5,934千円補助)
 - ほか、農業者高齢者組織育成事業など

<現状に対する認識>

今後益々事業要望が増加する予定である。

<指標の達成状況>

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	認定農業者数(名)				
目標値	510	515	520	525	530
実績値	491				
達成度	96.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,916				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	7,916				
② 人件費(千円)	2307	人工	人工	人工	人工
正規	2307	0.3			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	10,223				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農業者育成事業 (新規就農者育成対策事業)
-------	--------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	④	新しい働き方・雇用の創出

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
新規就農者等の育成により農業に担い手を確保するとともに、営農機械購入等への支援を行うことで、安定的かつ効率的に本市の営農活動が行われるよう支援する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>新規就農者育成対策事業 新規就農希望者を研修生として採用し、営農技術研修及び就農支援を行う。事業主体のJA松本ハイランドへ事業費負担を行う。</p> <p>松本熟年農業大学 熟年者の生きがいづくりと、研修修了者を農業に誘導し遊休荒地の有効活用や農家を保管する農業労働力の育成を図る。</p> <p>新規就農者等支援事業 新規就農に必要な初期投資の負担を軽減することにより、新規就農への敷居を下げ、新規就農者の定着促進を図る。</p> <p>経営体育成支援事業 人・農地プランに位置付けられた経営体等が経営支援のため、必要とする機械施設等を融資になり導入する場合に、融資残額の一部について3/10国庫補助</p> <p>新規就農・経営継承総合支援事業 青年の就農意欲の喚起と就農後の安定を図る。10/10国庫補助</p>

＜現状に対する認識＞
本市へIJUターンで新規就農を希望する方への相談の機会を拡充するため、首都圏で開催される、就農移住フェアへ新規就農者と参加し相談を受ける。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	新規就農者数(累計)				
目標値	33	35	37	39	41
実績値	33				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,934					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	5,934					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	8,241					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農業者育成事業 (松本熟年農業大学 ほか)
-------	--------------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
1 市民の生きがいづくりと、農業の担い手の育成を、JA等と協力して研修等を実施するもの 2 新規就農者等の育成により農業の担い手を確保するとともに、営農機械購入等への支援を行うことで、安定的かつ効率的に本市の営農活動が行われるよう支援するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 負担金 (1) 松本熟年農業大学 ア 内容 概ね65歳以下の市民を対象に、JAと協力し、野菜の栽培実習等を実施するもの イ 負担割合 市1/2、JA1/2 ウ H28実績 18人(36千円負担) (2) ほか、新規就農者育成対策事業、地域営農リーダー育成塾 2 補助金 (1) 認定農業者支援事業 ア 内容 認定農業者等へ農業機械等費用の一部を補助するもの イ 補助率 1/3以内、上限200万円 ウ H28実績 5件(7,916千円補助) (2) 新規就農者等支援事業 ア 内容 新規就農者を対象に、農業機械等費用の一部を補助するもの イ 補助率 1/2以内、上限50万円 ウ H28実績 4件(5,934千円補助) (3) ほか、経営体育成支援事業など

＜現状に対する認識＞
○認定農業者支援事業: 今後益々事業要望が増加する予定である。 ○新規就農者支援: 本市へIJUターンで新規就農を希望する方への相談の機会を拡充するため、首都圏で開催される、就農移住フェアへ新規就農者と参加し相談を受ける。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	認定農業者数(名)				
目標値	510	515	520	525	530
実績値	491				
達成度	96.3%				
② 成果指標(指標名)	新規就農者数(累計)				
目標値	33	35	37	39	41
実績値	33				
達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	46,348				
	利用者負担金	31,037				
	その他	0				
	一般財源	15,311				
② 人件費(千円)	正規	14,611	人工		人工	
	嘱託	0	0			
合計コスト①+②	60,959					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農業者育成事業(認定農業者等支援事業)
-------	---------------------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業(認定農業者等支援事業)

<事業の狙い>	事業計画年度	H14~H28
認定農業者への農地の利用集積を推進するため、規模拡大を行う認定農業者に対して、農業機械等の取得費用を補助するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>
1 補助内容 農業経営改善計画の目標達成を支援するため、計画に位置付けられた農業機械等を取得する場合、取得費用の一部を補助する (1) 1台当りの購入価格が100万円以上の農業機械(トラック等の車両を除く)。 (2) 1件当たり設置価格が100万円以上の農業用生産施設(格納庫、作業場を除く)。 (3) 上記のうち国及び県の補助事業で対象となる機械・施設は除く。 (4) 集落営農組織は作業場等の施設、トラック等の車両も対象とする。
2 補助率 1/3以内、上限200万円(集落営農組織は上限300万円)

<現状に対する認識>
今後益々事業要望が増加する予定である。

<指標の達成状況>	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	認定農業者数(名)				
目標値	510	515	520	525	530
実績値	491				
達成度	96.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,916				
国・県	0				
利用者負担金	0				
その他	0				
一般財源	7,916				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	10,223				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農村女性活動推進事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農村女性活動推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

農村女性の社会的地位向上と豊かな家庭、農村地域づくりを目的に、女性農業者の育成、生活環境の整備、各種学習活動等の事業推進を行い、農村女性自らの社会参画意識向上を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 女性活動促進推進会議の開催「まつもと農村地域虹の橋プラン」策定
- 2 各地区、マイスターの会での事業推進
- 3 農村女性冬期講座、農業者講座
- 4 家族経営協定の推進
- 5 遊休荒廃農地へ景観用の花の植栽
- 6 農村女性フェスティバルの開催(2年に1回)

＜現状に対する認識＞

まつもと農村女性協議会(会員約280名)と、28年度に発足した女性農業者団体(会員20名)により、両者連携を図りながら事業推進に努める。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	女性認定農業者がいる農業経営体数(名)					
目標値	37	42	47	52	57	
実績値	31					
達成度	83.8%					
② 成果指標(指標名)	家族経営協定締結数(名)					
目標値	205	210	215	220	225	
実績値	207					
達成度	101.0%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,782				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	1,782				
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	5,627				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農用地高度利用流動化事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑧成熟型社会の都市基盤づくり

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農用地高度利用流動化事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
農用地利用権の集積を通じて、農業の中核的担い手の育成・確保と農用地の有効活用を図り、もって農地保有の合理化や、地域農業の振興及び農業構造の改善に資することを目的とする。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
<p>1 人・農地プラン作成事業 地域の話し合いと合意に基づき、地域農業のプランを作成する。</p> <p>2 農地中間管理事業 農地中間管理機構の委託を受け、窓口業務を行う。</p> <p>3 機構集積協力金交付事業</p> <p>(1) 地域集積協力金:貸付面積に応じて地域に対して交付 H28実績 1,779,700円</p> <p>(2) 経営転換協力金:離農や経営転換等で農地を貸し付けた出し手へ交付 H28実績 9,739,298円</p> <p>(3) 耕作者集積協力金:農地に連担している農地を貸し付けた出し手等へ交付 H28実績 345,000円</p> <p>4 土地利用型経営規模拡大奨励金交付事業 1年以上の利用縁を設定した認定農業者へ補助金を交付(3,000円/10a) H28実績 51,510,030円</p> <p>5 認定農業者への集積率 H28実績 37.2% =1,794ha/4,822ha ※「認定農業者への利用権設定面積:H28.3.31時点」に「経営耕地面積:H27農林業センサス」を除いたもの</p>

＜現状に対する認識＞
<p>農地の集積を進めるうえで有効な施策であることに止まらず、全国的に広がっている農業の担い手や後継者不足の解消に向けた重要な施策であると考える。</p> <p>また、機構集積協力金は平成30年度で終了することから、国の動向を伺いつつ、その後の施策についても検討を進めたい。</p>

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	認定農業者への集積率				
目標値	52.9	53.5	54.1	54.7	55.4
実績値	37.2				
達成度	70.3%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	65,688				
	利用者負担金	14,103				
	その他					
	一般財源	51,585				
② 人件費(千円)	正規	10540	人工		人工	
	嘱託	7690	1			
		2850	1			
合計コスト①+②	76,228					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農業労働力補完支援事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農業労働力補完支援事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
松本市の農業の労働力補完と市民の農業への関心を高めるため。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

松本市アグリサポート推進事業
・アグリサポート推進協議会事務局が役割分担をし、農作業労働力補完を行う。
・農繁期のりんごの作業について、市民が農家の作業支援を行う。 春季6日間(摘果作業) 秋季6日間(葉摘み、玉回し作業)

＜現状に対する認識＞

利用者(農家)からの要望は多いが、支援者数が大幅に足りないため、事業の周知をさらに徹底して行う必要がある。また、周知対象者を具体的に絞っていく必要もある。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	充足率(協力人数/支援希望人数)				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	85				
達成度	85.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	173				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	173				
② 人件費(千円)	2,194	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	2,367				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	遊休荒廃農地対策事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	遊休荒廃農地対策事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H17～H32
--------	---------

- 遊休荒廃農地対策事業補助金
国の補助対象(農業振興地域内の農用地区域等(青地))以外の耕作放棄地の解消作業を行い、農地として再活用する者に対し補助金を交付するもの
- 農業生産振興事業補助金
国補助事業により再生作業を行うものに対し、補助を行うもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 遊休荒廃農地対策事業補助金
耕作放棄地解消のために行う草木の伐採及び抜根、耕運、土壌改良剤の投与等の再生作業に要する経費に対し、3,500円/a～7,000円/aの範囲で補助を行うもの
- 農業生産振興事業補助金
国補助事業経費の1/10を上乗せ補助するもの

＜現状に対する認識＞

国事業のリニューアルに伴い、今後市事業の実施が増加する事が予想される。

＜指標の達成状況＞

総合評価	D
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	国事業実施による再生面積(a)				
目標値	500	500	500	500	500
実績値	174				
達成度	34.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	133				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	133				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0	0			
合計コスト①+②	902				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	③松本製品のブランド化	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	経営所得安定対策直接支払推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

米の生産調整は平成29年で終了し、平成30年以降は行政による生産数量の配分に頼らない、需要に応じた生産を行う。
農業再生協議会が中心になり、水田フル活用ビジョンを作成し、地域振興作物等の作付けを誘導することになる。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

経営所得安定対策直接支払推進事業費
地区協議会との連絡調整、各種取りまとめ等を行い、経営所得安定対策の申請の事務を行う。

＜現状に対する認識＞

農業再生協議会が中心になり、水田フル活用ビジョンを作成し、地域振興作物等の作付けを誘導することになる。

＜指標の達成状況＞

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	経営所得安定対策の申請率				
目標値	2,441	2,318			
実績値	2,418				
達成度	99.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	35,147				
国・県	24,818				
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,329				
② 人件費(千円)	18,230	人工	人工	人工	人工
正規	15,380	2			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	53,377				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	③松本製品のブランド化	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

有害鳥獣による農作物被害に対し、獣害被害防護柵の設置及び維持管理、協議会活動への負担を通して営農意欲の減退や耕作放棄地の増加などを阻止し、農家の経営安定を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 獣害防護柵維持管理
市が資材を提供し、地元が労力を提供する協働方式により防護柵を設置するもの。また、自然災害などによる設置した防護柵の破損に対し、資材の提供を行う。成果指標は獣類による農作物被害金額による。
- 松本広域鳥獣被害防止総合対策協議会
中信地区の市村などで構成される協議会の運営・活動に対し負担を行い捕獲用資材の購入や緩衝帯整備などの鳥獣害対策を支援するもの。事務経費の出資割負担金であるため、指標となるものはない。
- 産地パワーアップ事業
高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器リース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、改植時に必要な経費、転換期に必要な資材導入などに要する経費等を支援する。補助率1/2以内。

＜現状に対する認識＞

有害獣防護柵は、平成28年度で175,652mの設置が完了し、今後は、維持管理に必要な修繕等の材料を提供していく。有害鳥獣対策は捕獲に力を入れる。
産地パワーアップ事業は松本市農業再生協議会で計画している。現在の計画は平成30年まで、取組者の計画は平成29年度まで。新規取組は現在なし。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	獣類による農作物被害金額(千円)					
目標値	17,114	16,771	16,435	16,106	15,744	
実績値	17,946					
達成度	104.9%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	69,085				
国・県	48,941				
利用者負担金					
その他	5,900				
一般財源	14,244				
② 人件費(千円)	23,070	人工	人工	人工	人工
正規	23,070	3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	92,155				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	環境保全型農業推進事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	環境保全型農業推進事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	平成16年度～
--------	---------

有効な農地風食防止対策を関係機関との連携強化を図り、統一かつ広域に推進、実施し、風食被害の防止を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

松本南西部地域農地風食害対策協議会

- 麦作付け誘導対策
現在まで確立された技術の中で、最も有効な風食防止対策である麦の作付け誘導を進める。事業計画の作成は協議会で行う。
- 啓発対策
各町村・JAにおいて広報・Eメール等での啓発及び情報提供を実施し、播種、耕起などによる発生防止対策を促す。

<現状に対する認識>

--

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	200				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	200				
② 人件費(千円)	1,538	人工		人工	
	1,538	0.2			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	1,738				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	環境保全型農業直接支払事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	8	積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み	○生物の多様性を考慮した自然環境の保全		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略	③松本製品のブランド化		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	環境保全型農業直接支払事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	平成23年度～
営農活動を通じた地球温暖化対策及び生物多様性保全対策の推進をする。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
有機農業者や緑肥を作付するエコファーマーなど環境保全効果の高い営農活動に取組む農業者を直接支援するもの。(国・県との一体的事業) 環境保全型農業直接支払事業費
1 対象者 販売を目的に生産し、エコファーマーの認定を受けている農業者団体等
2 対象取組 化学肥料・化学合成農薬の使用低減や有機農業等
3 支援単価 最高8,000円/10a(取組内容により異なる)
4 補助率 国1/2 県1/4 市1/4
推進事務費 農業者等に対する説明会の開催及び助言・指導や、交付金の対象となる取組の実施状況等の確認等に係る事務費補助(定額交付 補助率10/10)

＜現状に対する認識＞
平成27年度制度改正により、個人での申請から団体での申請になったため、団体に所属していない農業者は申請ができない。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	エコファーマー認定者数(累計)				
目標値	340	345	350	355	360
実績値	340				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,576					
国・県	1,158					
利用者負担金						
その他						
一般財源	418					
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工	
正規	3,845	0.5				
嘱託	0					
合計コスト①+②	5,421					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	そ采花き振興
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	そ采花き振興費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	③松本産品のブランド化	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
1 産地パワーアップ事業 地域の営農戦略に基づいて実施する産地の高収益化に向けた取組を総合的に支援し、農業の国際競争力を図る。 2 農畜産物生産出荷安定対策事業 野菜、花き農家の経営安定対策のため。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 産地パワーアップ事業 高収益な作物・栽培体系への転換を図る取組に必要な機械や機器リース導入に要する経費、施設整備に必要な経費、改植時に必要な経費、転換期に必要な資材導入などに要する経費等を支援する。補助率1/2以内。 2 農畜産物生産出荷安定対策事業 野菜、花きは価格変動が大きいことから、野菜生産安定基金協会への加入掛金に補助をする。農家・JA・行政で1/3ずつ負担。 平成28年度 加入数量 4,538千ケース

＜現状に対する認識＞
1 産地パワーアップ事業 計画は松本市農業再生協議会 現在の計画は平成30年まで、取組者の計画は平成29年度まで。 新規取組みは現在なし。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		119,927				
国・県		117,563				
利用者負担金						
その他						
一般財源		2,364				
② 人件費(千円)		7,690	人工	人工	人工	人工
正規		7,690	1			
嘱託		0				
合計コスト①+②		127,617				
前年度比		—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	果樹振興
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	③松本産品のブランド化	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	果樹振興費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	平成23年度～
1 りんご産地再生モデル事業 高齢化により生産性の低下しているりんご産地の再生を図る。	
2 果樹共済加入促進対策事業 果樹共済の加入促進を図り、果樹農家の経営の安定を資する。	
3 果樹経営者支援事業 果樹棚整備の取組みを推進し、果樹産地の再生を図る。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 りんご産地再生モデル事業 作業効率や生産性の向上を目指し新たな栽培方法である「新しい化」を推進するために、苗木の購入に対しての補助。補助率1/10
2 果樹共済加入促進対策事業 災害発生時に果樹農家の経営安定を図るため、果樹共済への加入率向上を目的に、加入掛金を補助。補助率2/10(H30まで3/10)
3 果樹経営者支援事業 果樹棚(トレリス、平棚等)の資材購入費及び設置にかかる費用を補助。補助率1/10

＜現状に対する認識＞

--

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	新しい化栽培導入面積(ha)					
目標値	43.7	52.3	60.9	65.0	65.0	
実績値	42.2					
達成度	96.6%					
② 成果指標(指標名)	果樹共済加入率(%)					
目標値	42.5	44.0	45.5	47.0	48.5	
実績値	42.5					
達成度	100.0%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,488				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	17,488				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	25,178				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	畜産振興
-------	------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—		松本版総合戦略	③

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
地域における畜産業の経営安定を図るため、広域家畜診療所への運営費負担及び農家等への支援事業を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 長野県農業共済組合 家畜診療所運営費負担金 中信地区の広域的な家畜診療所運営に対し運営費を負担するもの。活動指標は診療件数。
2 農畜産物生産出荷安定対策事業 畜産物の価格変動による農家経営の不安定化を防止するため、共済掛金等に補助を行うもの。活動指標は加入頭(量)数。
3 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 地域の畜産経営体の生産基盤を強化するため、国の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金を活用し、松本畜産クラスター協議会の取組に対して補助を行うもの。計画策定が協議会のため、活動指標の策定はできない。
4 高品質畜産物生産基盤確立支援事業 酪農ヘルパーの利用、優良豚の解体及び等級の高い肉用牛の出荷へ補助を行い、畜産農家の生産意欲向上と経営安定を目指すもの。活動指標はそれぞれ利用回数、解体頭数、出荷頭数。

＜現状に対する認識＞
畜産農家の高齢化や子牛の高騰など畜産業は厳しい状況にあり、畜産業を継続させていくためにも引き続き補助事業等支援策が求められている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	酪農ヘルパー利用総数				
目標値	580	580	580	580	580
実績値	579				
達成度	99.8%				
② 成果指標(指標名)	肉用牛の公社への出荷頭数(A4以上)				
目標値	550	550	550	550	550
実績値	638				
達成度	116.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	208,714				
国・県	198,542				
利用者負担金					
その他					
一般財源	10,172				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	216,404				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	四賀有機センター管理
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	⑦再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	四賀有機センター管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

家畜排せつ物を堆肥化することにより畜産環境問題を改善し、有機肥料として販売することで農地の土壌改良と化学肥料の使用を減らした持続性の高い農業生産方式の導入を促進する。

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 1 農家から持ち込まれる畜糞の堆肥化
(搬入農家 3法人)
 - 2 有機堆肥の販売・散布
(30ℓ袋、フレコン、バラの3種類による販売・散布機によるほ場への散布)
 - 3 堆肥化に伴う悪臭の削減と飛散防止
(二次発酵槽の簡易密閉シートを改修 10槽)
 - 4 直営による運営を見直し、指定管理者制度を導入するため、地元2町会と施設建設前に結んだ協定書または覚書を廃し、新たな協定を締結する。

＜現状に対する認識＞

平成24年度から臭気対策の取組を始め、悪臭が改善してきたと認識をいただいているので、町会への丁寧な説明により早期の新協定書の締結を目指す。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		B		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	堆肥販売量(t)					
目標値	1,440	1440	1440	1440	1440	
実績値	1,545					
達成度	107.3%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	44,134				
国・県					
利用者負担金	10,556				
その他	17,968				
一般財源	15,610				
② 人件費(千円)	8,830	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	1,140	0.4			
合計コスト①+②	52,964				
前年度比	—				

事務事業評価票

作成日 平成29年9月26日

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市場一般管理
-------	--------

<予算上の位置付け>

会計名	公設市場
予算中事業名	市場一般管理費

<第10次基本計画の位置付け>

まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承
—	—	—

<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>

市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
主な取組み			○松本産農産物のブランド化と販路拡大
5つの重点目標	3	経済の好循環の創出	
松本版総合戦略	③	松本産品のブランド化	

<事業の狙い>

事業計画年度

平成元年～

中信地区の生鮮流通の拠点である公設地方卸売市場の適正、健全かつ効率的な運営を図る

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 市場運営業務
指定管理者制度による市場の管理運営を行い、2期通算6年目となる

<現状に対する認識>

・指定管理者による運営が2期通算6年目となる中、流通業界の再編の動きが激しくなっている。3期11年目以降の運営方針について方向性を見出す時期となっているが、入場業者の経営展望が定まらず、大きな決断はしづらい状態となっている。

<指標の達成状況>

総合評価

A

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383				
達成度	89.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	199,169				
国・県					
利用者負担金	141,833				
その他	57,336				
一般財源					
② 人件費(千円)	3,845	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	203,014				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市場施設管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3 経済の好循環の創出	
—	—	—	松本版総合戦略	③松本産品のブランド化	

＜予算上の位置付け＞

会計名	公設市場
予算中事業名	市場施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	平成元年～
--------	-------

中信地区の生鮮流通の拠点である公設地方卸売市場の機能維持の為の施設管理

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 市場施設管理業務
市場施設の機能維持の為の管理業務。指定管理者制度導入により大部分は指定管理者へ移管しているが、一部は市の責任によるものとして継続して行っているもの

＜現状に対する認識＞

・市場施設の機能維持の為、市の責任として行わなければならない業務

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)					
目標値	430	430	430	430	430	
実績値	383					
達成度	89.1%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,200				
国・県					
利用者負担金	1,540				
その他	660				
一般財源					
② 人件費(千円)	385	人工	人工	人工	人工
正規	385	0.05			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,585				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	農政課	課CD	06100000
-----	-----	----	-----	-----	----------

事務事業名	市場施設整備事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—		松本版総合戦略	③

＜予算上の位置付け＞

会計名	公設市場
予算中事業名	市場施設整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	平成元年～
--------	-------

中信地域の生鮮流通の拠点である公設地方卸売市場施設の機能回復・発展を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 市場施設整備事業
市場施設の機能回復・発展を図るため、更新・整備等を行うもの。

- ・28年度実施事業
自動火災報知装置更新
場内通路舗装更新(順次)

＜現状に対する認識＞

開設から30年が経過し、近い将来、施設の老朽化、陳腐化による抜本的な更新整備が必要。また施設そのものが時代のニーズに対応できておらず、流通拠点としての機能の弱体が進んでいるため、コールドチェーンの積極整備など攻めの整備も必要。
その中で利用者である入場業者の経営展望が定まっておらず、市としての整備方針も決めかねている。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市場取扱金額(億円)				
目標値	430	430	430	430	430
実績値	383				
達成度	89.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	46,731				
国・県					
利用者負担金	46,731				
その他					
一般財源					
② 人件費(千円)	1,154	人工	人工	人工	人工
正規	1,154	0.15			
嘱託	0				
合計コスト①+②	47,885				
前年度比	—				

耕地林務課

課長 矢島 頼義

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農村公園管理
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	3	地域社会における支えあいを深め、地域生活の安心・安全づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	○町会との協働による支えあえる地域づくり	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	1	健康ときずなづくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農村公園管理費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

農村地域における地域住民等のコミュニティーづくりを図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

(1)農村公園の保全管理に関する業務
 (2)農村公園内外の清掃、除草に関する業務
 (3)農村公園付随の施設の管理に関する業務
 (4)指定管理による管理運営の実施
 → しがビューティフルパーク

<現状に対する認識>

農村公園の安全確保を図る
 農村地域における農業者等のコミュニティーづくり及び地域農業の振興を図る

<指標の達成状況>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	しがビューティフルパーク利用率				
目標値	100				
実績値	90				
達成度	90.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	7,274									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	7,274									
② 人件費(千円)	3,361	人工		人工		人工		人工		人工
正規	3,076	0.4								
嘱託	285	0.1								
合計コスト①+②	10,635									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中山間地域総合整備事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備		
—	—	—	—	松本版総合戦略	③松本製品のブランド化		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域総合整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～ H28
--------	-------

土地改良施設等の機能を適正に発揮させるため、地域住民の共同活動による環境の整備等の事業を支援する。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

ふるさと水と土保全基金の運用益を基金に積立している。
 基金積立額÷基金積立予定額＝達成度

＜現状に対する認識＞

基金の造成は、国の中山間地域総合整備事業の採択要件。
 平成9年度より基金積立てを開始したが、基金が有効活用されていない。
 このため、平成28年度末で基金を廃止し、一般会計に繰入れ、国の多面的機能支払交付金事業費に充当することとした。

＜指標の達成状況＞

総合評価	C				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	基金運用益積立額				
目標値	110,000				
実績値	62,600				
達成度	56.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	63									
国・県										
利用者負担金										
その他										
一般財源	63									
② 人件費(千円)	769	人工		人工		人工		人工		人工
正規	769	0.1								
嘱託	0									
合計コスト①+②	832									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約 主な取組み	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		○生物の多様性を考慮した自然環境の保全	
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進		5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	④新しい働き方・雇用の創出

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
農林業被害の軽減を図るため	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 個体数調整、有害鳥獣管理

＜現状に対する認識＞

・市街地での騒音及び糞による臭気等に苦情が寄せられるが、銃器使用による駆除が出来ないため対策に苦慮している。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	獣類捕獲					
目標値	2,130					
実績値	2,512					
達成度	117.9%					
② 成果指標(指標名)	鳥類捕獲					
目標値	5,200					
実績値	4,733					
達成度	91.0%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	17,270				
国・県	8,408				
利用者負担金					
その他					
一般財源	8,862				
② 人件費(千円)	14,385	人工	人工	人工	人工
正規	11,535	1.5			
嘱託	2,850	1			
合計コスト①+②	31,655				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑦	再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市内の森林の水源涵養・山地災害防止等の多面的機能を発揮させるため、松本市森林整備計画に基づき森林整備を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 市有林造成事業 市が管理する市内の市有林整備の実施
2 森林造成事業補助金 林業事業者等が実施する森林整備に対して市嵩上げ補助を実施
3 森林整備地域活動支援交付金事業 林業事業者が森林経営計画の作成に対する経費の市嵩上げ補助を実施

＜現状に対する認識＞
森林所有者等の山離れが進み、適切な手入れがされていない森林が多いため、森林整備に対する市嵩上げ補助を実施し、森林所有者の個人負担を軽減する。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標面積(ha)					
目標値	228	200	200	200	200
実績値	138				
達成度	60.5%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	2,903				
	利用者負担金					
	その他	2,426				
	一般財源	17,917				
	合計	23,246				
② 人件費(千円)	正規	7,690	1			
	嘱託	0				
	合計	7,690	1			
合計コスト①+②	30,936					
前年度比	—					

事務事業評価票

事務事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理
-------	---------------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	美鈴湖もりの国周辺施設管理費

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	1	地域資源と人材を活かすまち		主な取組み	○北アルプスや美ヶ原など、広域山岳観光の推進
基本施策(個別目標)	513	山岳観光の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
市民の野外レクリエーション活動の推進を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 指定管理事業 施設の使用受付、許可、使用料徴収、施設の維持管理及び事業の企画運営等を主な業務として、TOY BOXへ委託
2 施設の改修事業 快適な施設利用や、利用者数の増加を目的とした施設改修等の実施

＜現状に対する認識＞
・施設設置から20年余りが経過し、施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修が必要

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松本市美鈴湖もりの国利用者数(人)				
目標値	5,500	5500	5500	5500	5500
実績値	5,881				
達成度	106.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	7,158					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	7,158					
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3				
嘱託	0					
合計コスト①+②	9,465					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	松くい虫対策事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	松くい虫対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	~
松くい虫被害のまん延を防止するため	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 松くい虫被害木の伐倒駆除 2,671本
2 松くい虫被害拡大防止に向けた防除対策への補助 227件

<現状に対する認識>

・松くい虫被害が南西方面に拡大しており、最先端箇所の把握が難しいため、後手となっている。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	95,295				
	国・県	53,428			
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	41,867				
② 人件費(千円)	14,385	人工	人工	人工	人工
	11,535	1.5			
	2,850	1			
合計コスト①+②	109,680				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○生物の多様性を考慮した自然環境の保全
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—		松本版総合戦略	④

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
林業を主要産業とし、林業従事者等の確保を図る。また、田舎と都市の交流の場所として、里山を中心とした森林の多目的利用、公益的な施設を通じて自然環境学習を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 林業センター・林業者等健康増進管理集会施設・五常集落生活環境施設施設管理を行い、林業者等の労働環境を整備する。
2 環境学習の森管理事業 指定管理者制度で交流促進センター等の施設管理や環境林の整備を行う。
3 千鹿頭山森林公園 施設の維持管理を行い、安心して利用できる環境を整える。

＜現状に対する認識＞
・林業施設の老朽化や交流促進センター等の利用者が減少しているため、施設維持管理の検討を図る。
・公園内のアカマツの松枯被害が拡大しつつあり、蔓延防止のための対策が必要である。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	林業者等健康増進管理集会施設(%)				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	50				
達成度	50.0%				
② 成果指標(指標名)	環境学習の森管理事業(%)				
目標値	100	100	100	100	100
実績値	30				
達成度	30.0%				

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	11,056				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	11,056				
② 人件費(千円)	10,282	人工	人工	人工	人工
正規	9,997	1.3			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	21,338				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市で管理する林道の安全確保のため、維持管理を行う。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

松本市管理林道 92路線、延長 275,476m

- 林道管理委託
巡回、路面清掃、側溝清掃、除草、除雪 等 1式
- 林道維持工事
舗装補修、路盤維持、法面・路肩補修 等 31件

＜現状に対する認識＞

観光利用される林道もあり、安全管理に努める。

＜指標の達成状況＞

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	車両事故発生件数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度	100%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	35,911				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	35,911				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	38,218				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独林道整備事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み			
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標				
—	—	—	松本版総合戦略				

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	単独林道整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
市で管理する林道の安全確保のため、部分的な改良工事を行う。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

林道改良工事 3件

＜現状に対する認識＞

(H29から林道維持管理費に統合)

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	車両事故件数					
目標値	0	0	0	0	0	
実績値	0					
達成度	100%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	16,567				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	16,567				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	18,105				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業振興
-------	------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

森林資源の有効利用を行うことにより、地球温暖化の抑制や二酸化炭素削減を図り、木材利用の拡大を図るもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- ペレットストーブ購入事業補助金
ペレットストーブ購入者に対して本体価格の1/2を補助するもの。
(上限100千円)
- 松茸山発生環境整備
アカマツ林の除間伐、腐植層の除去及び掻き起し等を行うもの。

＜現状に対する認識＞

木質ペレット燃料の普及により、林業の活性化を促すと共に、再生可能エネルギーである木質バイオマスの活用を進めるもの。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標台数					
	目標値	77	89	101	113	125
	実績値	77				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	松茸山発生環境整備率					
	目標値	100	100	100	100	100
	実績値	100				
	達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	1,444				
	国・県	700			
	利用者負担金	0			
	その他	0			
	一般財源	744			
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
	正規	2,307	0.3		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	3,751				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	第67回全国植樹祭推進事業
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	第67回全国植樹祭推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	27～28
--------	-------

平成28年6月5日に開催された第67回全国植樹祭において、本市のアルプス公園が植樹会場の一つとなったため、県及び他の開催市とともに準備と開催に取組んだもの。

H28事業終了

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

アルプス公園会場	植栽面積	約2ha、参加人数	1,630人
----------	------	-----------	--------

＜現状に対する認識＞

--

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	指標名					
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	342				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	342				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
	2,307	0.3			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	2,649				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	4～32
--------	------

森林の整備・管理の効率化に不可欠であり、路線により生活道路・観光道路としても利用される、林道網の整備を計画的に行うもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

開設工事(2路線)
 高遠線 L=27m
 栗の木線 L=184m

改良工事(2路線)
 美ヶ原線 L=327m
 湯ノ原線 L=80m

＜現状に対する認識＞

国県の補助を活用し、積極的に整備を進める。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	林道開設延長(m)				
目標値	173	232	189	200	361
実績値	211				
達成度	122.0%				
② 成果指標(指標名)	林道改良延長(m)				
目標値	361	400	450	500	80
実績値	407				
達成度	112.7%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	55,112				
国・県	19,837				
利用者負担金					
その他					
一般財源	35,275				
② 人件費(千円)	11,535	人工	人工	人工	人工
正規	11,535	1.5			
嘱託	0				
合計コスト①+②	66,647				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
林業振興に資する団体への負担金の拠出	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

※県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会ほか4団体への負担金

- 1 県治山林道協会及び松本地域森林林業振興会
- 2 野俣林道愛護会
- 3 長野県特用林産物振興会
- 4 朝日地区林野警備連合会
- 5 長野県造林協会

＜現状に対する認識＞

それぞれの団体により、林業の振興が図られている。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,740				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	2,740				
② 人件費(千円)	1,538	人工		人工	
	正規	1,538	0.2		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	4,278	0	0	0	0
前年度比	—	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	JKタウン和田西原販売促進事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します	
政策の方向(まちの姿)	1	地域の支え合いを育むまち	市長公約	主な取組み	OJUターンや新規就農希望者への支援		
基本施策(個別目標)	311	地域づくりの推進	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑥コンパクトな都市と賑わいの創出		

<予算上の位置付け>	
会計名	一般会計
予算中事業名	JKタウン和田西原販売促進事業費

<事業の狙い>	事業計画年度	H22 ~ H30
県営ほ場整備事業「和田西原地区」において、優良農地の保全とともに生活環境基盤の一体的整備による田園居住環境の整備を目指して創設された、非農用地を長野県住宅供給公社が開発・分譲した住宅団地の販売促進を、協定に基づき推進するもの		

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 報奨金制度 和田西原住宅団地の販売促進と定住促進のため、購入者を紹介した者に対して報奨金を支払うもの
2 維持管理費 土壌侵食防止林の維持管理に係る費用
3 販売促進事業 長野県住宅供給公社の行う広告宣伝の費用を負担するもの

<現状に対する認識>

・平成29年4月に長野県住宅供給公社との変更の協定により、分譲単価の値下げと販売計画期間を5年間延長した。

<指標の達成状況>	総合評価	D			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	販売区画数				
目標値	17	15	10	4	3
実績値	3				
達成度	17.6%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,956				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,956				
② 人件費(千円)	2,034	人工	人工	人工	人工
正規	1,692	0.22			
嘱託	342	0.12			
合計コスト①+②	8,990				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	市長公約	主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援		
基本施策(個別目標)	431	水、大気などの環境保全の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出		
—	—	—	—	松本版総合戦略	③松本製品のブランド化		

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	多面的機能支払交付金事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	H19～
--------	------

地域が共同で農地・水路等施設の維持管理、農村環境の向上に関する取組み及び農業施設等の長寿命化への取組みを行い地域の農業振興に努めるもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取組む地域活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上に資する活動に対して支援するもの。

- 農地維持支払
農地・水路・の法面の草刈り、泥上げ等の地域資源の保全・管理活動への支援
田3,000円、畑2,000円、草地240円(10a当り)
- 資源向上支払(共同活動)
水路・農道等の軽微な補修や植栽などの環境保全活動への支援
田2,400円、畑1,440円、草地240円(10a当り)
- 資源向上支払(長寿命化)
老朽化した水路・農道などの施設の補修・更新への支援
田4,400円、畑2,000円、草地400円(10a当り)
- 事業区域 旧市、四賀地区
- 負担割合 国50%、県25%、市25%

<現状に対する認識>

- 活動組織にとっては、高度な事務処理能力が求められており、事務処理人員の確保にも苦慮している組織がある。
- 事務処理者の確保対策として、集落単位の組織から、広域組織への移行の検討を要している。

<指標の達成状況>

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	取組目標面積(ha)					
目標値	2,500	2,832	2,839	2,847	2,854	
実績値	2,505					
達成度	100.2%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	179,720				
国・県	134,790				
利用者負担金					
その他					
一般財源	44,930				
② 人件費(千円)	8,258	人工	人工	人工	人工
正規	5,921	0.77			
嘱託	2,337	0.82			
合計コスト①+②	187,978				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独耕地事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	単独耕地事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

老朽化した農業用施設等の整備を行い、安定した用水確保及び維持管理の軽減を図ることにより農業経営を向上させるもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 市単土地改良事業
土地改良区、農業協同組合、水利組合等団体が行う土地改良事業に要する経費に対し、補助金を交付
- 市単独耕地事業
農道、用排水路等松本市が維持管理する農業用施設等の補修に対する費用
- 原材料費
土地改良区、農業協同組合、水利組合等団体が行う軽微な補修に必要な原材料を支給するもの

※事業費
 予算 27,830千円
 実績 27,693千円

＜現状に対する認識＞

安定した用水確保及び維持管理の軽減を図り農業経営の安定化、付加価値の高い農産物の生産、供給に寄与する

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
区分	達成度					
① 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	24,031				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	24,031				
② 人件費(千円)	15,600	人工	人工	人工	人工
正規	14,688	1.91			
嘱託	912	0.32			
合計コスト①+②	39,631				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	県営土地改良事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	県営土地改良事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
老朽化した農業用施設等の整備を行い、安定した用水確保及び維持管理の軽減を図ることにより農業経営を向上させるもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 かんがい排水事業(国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%) 長野県が実施する老朽化した、農業用水路改修事業の費用を負担するもの
2 畑地帯総合整備事業(国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%) 畑地帯における担い手支援の強化を図るため、総合的に老朽化した施設の改修を行い、農業生産基盤を総合的に整備するもの
3 特定農業用管水路等特別対策事業(国55%、県35%、市5%、地元5%) 畑地帯における担い手支援の強化を図るため、また、防災減災から幹線である老朽化した施設の改修を行い、農業生産基盤を総合的に整備するもの
4 農村地域防災減災事業(国55%、県34%、市11%) H24・25年度の農業用ため池堤体耐震調査の結果、耐震性に問題のあるため池の改修整備を行い、防災・減災対策を図るもの
5 補助金 県営土地改良事業実施に伴う計画概要書策定業務に対する補助金
6 委託料 農村地域防災減災事業で行うため、池改修工の事業計画書作成をおこなうもの

＜現状に対する認識＞
1 農業に不可欠な農業用水を安定的に供給するため、老朽化した農業水利施設等の計画的な補修・更新が急務となっている
2 事業完了年度を設定しているが、国の事業費予算配分に伴い完了年度の延長もありうる

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)		39,850				
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源		39,850				
② 人件費(千円)		2,461	人工		人工	
正規		2,461	0.32			
嘱託		0				
合計コスト①+②		42,311				
前年度比		—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
-------	-----------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	土地改良施設維持管理適正化事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

土地改良施設(農業用水利施設等)を改修し農業生産基盤及び農村生活環境の整備改善を図る。

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 内容	国の採択を受けて、土地改良区が計画的に実施する土地改良事業の経費に対して補助金を交付。
2 補助率	事業費の1/5

<現状に対する認識>

土地改良施設の維持管理費の負担軽減を図るため、継続した支援が必要。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	6,840				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	6,840				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	769	0.1			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	7,609				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業
-------	------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	市長公約	主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4	暮しと生活の基盤づくり		
—	—	—	—	松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	国営造成施設管理体制整備促進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H22 ~ H29
--------	-----------

国営事業等で整備した農業水利施設が持つ多面的機能を継続的に発揮させるため、施設の管理体制を整備するもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業主体	中信平土地改良区連合
2 事業内容	農業水利施設の維持管理費のうち、多面的機能分を補助
3 補助率及び負担区分	10/10(国50%、県10%、市40%)

＜現状に対する認識＞

施設の維持管理に係る農業者の負担軽減を図る。
国の補助事業を活用し、維持管理費を補助する。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	対象となる農業用水利施設(頭首工数)					
目標値	1	1				
実績値	1					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)	対象となる農業用水利施設(用水路延長)					
目標値	136					
実績値	136					
達成度	100.0%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,847				
国・県	9,508				
利用者負担金					
その他					
一般財源	6,339				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	16,616				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金
-------	-----

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

<事業の狙い>

事業計画年度	～
--------	---

土地改良事業を推進するため、農業・農村振興に資する団体へ負担金を拠出するもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

※県土地改良事業団体連合会、林地地すべり対策協議会への負担金分

- 長野県土地改良事業団体連合会
- 松本耕地地すべり対策協議会

<現状に対する認識>

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	67				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	67				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
	769	0.1			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	836				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	一般管理(農集排)
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	433	公衆衛生環境の向上	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	農業集落排水事業特別会計
予算中事業名	一般管理費(農集排)

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
農業集落排水処理施設の機能を維持し、農業用水の水質保全を図る。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

農業集落排水事業に係る一般管理。

＜現状に対する認識＞

農業集落排水事業を実施するうえで必要な諸経費。

＜指標の達成状況＞

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
① 事業費(千円)	国・県									
	利用者負担金									
	その他									
	一般財源	3,697								
② 人件費(千円)	正規	3,418	人工		人工		人工		人工	
	嘱託	3,076	0.4							
		342	0.12							
合計コスト①+②	7,115									
前年度比	—									

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	寿赤木地区維持管理
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	4	国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		○農業を支える女性や担い手への感謝と支援		
基本施策(個別目標)	432	下水道整備の推進	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり		
—	—	—	松本版総合戦略	⑤	子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり		

＜予算上の位置付け＞

会計名	農業集落排水事業特別会計
予算中事業名	寿赤木地区維持管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～ H30
--------	-------

農村の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

農業集落排水処理施設の維持管理全般。

＜現状に対する認識＞

施設は平成元年に供用開始のため、施設の老朽化が進んでいる。このため、平成31年度に公共下水道両島処理区へ統合する予定。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	農業集落排水処理施設使用戸数					
目標値	142	142	142			
実績値	143					
達成度	100.7%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	5,094				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	5,094				
② 人件費(千円)	3,447	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	371	0.13			
合計コスト①+②	8,541				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	安曇地区維持管理
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み	4	暮らしと生活の基盤づくり
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	地域排水施設
予算中事業名	安曇地区維持管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H8～
--------	-----

農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。
また、施設の改修により延命を図り経費の削減を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容

- ・農業集落排水処理施設維持管理業務(稲核・島々・大野田地区)
- ・農業集落排水処理施設機能診断調査業務(島々・大野田)
(稲核はH27に実施)

2 事業の目的

- ・放流水の水質確保及び、施設の劣化防止
- ・施設の改修による延命化及び経費の削減

3 活動実績

維持管理(稲核・島々・大野田地区)

処理施設

- 巡回管理 1回/週(年52回)
- 水質検査 1回/月(年12回)

マンホールポンプ施設(稲核3基・島々2基)

- 巡回管理 1回/月(年12回)
- 清掃点検 1回/年

機能診断(島々・大野田)

- 管路施設 5.4km(島々3.1km、大野田2.3km)
- マンホール 120ヶ所(島々60ヶ所、大野田60ヶ所)
- 処理施設 2ヶ所

＜現状に対する認識＞

島々(H8)、大野田(H10)、稲核(H12)と設置以来16年以上が経過し、施設の劣化が進んでいる。ポンプ類や計装類は日常の点検や修理等により正常に機能しているが、更新時期を迎えた機器が多い。
また、汚水処理槽のコンクリートの劣化が進んでおり、対策工事が必要。

＜指標の達成状況＞

	総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合					
目標値	100%	100%	100%	100%	100%	
実績値	100%					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)	施設改修の推進(事業費ベース進捗率)					
目標値	2%	5%	8%	12%	40%	
実績値	2%					
達成度	100.0%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	23,540				
国・県	4,000				
利用者負担金					
その他					
一般財源	19,540				
② 人件費(千円)	2,877	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	26,417				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	小規模集合排水施設維持管理
-------	---------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	快適な生活環境を育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	432	景観維持、保全の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	地域排水施設
予算中事業名	小規模集合排水施設維持管理費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H12～
農業用水の水質保全及び生活環境の整備並びに農業集落排水処理施設の機能維持等の適正化を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容	野沢小規模集合排水処理施設の維持管理業務
2 事業の目的	放流水の水質確保及び、施設の劣化防止
3 活動実績	処理施設 巡回管理 1回/月(年12回) 水質検査 1回/年 マンホールポンプ施設 巡回管理 1回/月(年12回) 清掃点検 1回/年

＜現状に対する認識＞

平成12年度に設置された施設で、16年が経過しているが大きな劣化は見られない。野沢市営住宅12戸と近接住宅1戸の計13戸の処理をしているが、近年の少子化に伴い処理可能人口70人に対して、平成28年度末現在で処理人口は23人となっている。また、市営住宅の排水処理が主なため、市営住宅と一体化した施設としての整備の検討が必要。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	放流水が水質基準に適合している割合				
目標値	100%	100%	100%	100%	100%
実績値	100%				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	740				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	740				
② 人件費(千円)	1,054	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	1,794				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	耕地林務課	課CD	06150000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	寿赤木地区下水道建設
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	3	安全・安心で支えあいの心がつなぐまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	環境負荷軽減に取り組むまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	336	下水道整備の推進	5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備	
—	—	—		松本版総合戦略	⑤子どもが生まれ健やかに育つ環境づくり

＜予算上の位置付け＞

会計名	農業集落排水事業特別会計
予算中事業名	寿赤木地区下水道建設費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H25 ~ H30
--------	-----------

農業集落排水の管渠を公共下水道に接続し、生活排水の適正な処理を行うとともに、維持管理の効率化と受益者負担の軽減を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 内容	農業集落排水処理施設から近接する公共下水道へ接続するための管渠の整備。
2 新設管渠総延長	1238m

＜現状に対する認識＞

寿赤木地区の農業集落排水施設は、施設が老朽化し、今後汚水処理施設等の大規模改修が必要となっている。そこで、新たな費用負担を抑制し、効率的に管理運営するため、公共下水道に接続するもの。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	公共下水道への接続					
目標値	-	-	-	接続		
実績値	-					
達成度	-					
② 成果指標(指標名)	管渠新設延長					
目標値	250	315	83			
実績値	324					
達成度	129.6%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	98,412				
国・県	49,200				
利用者負担金					
その他	49,200				
一般財源	12				
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	0				
合計コスト①+②	101,488				
前年度比	-				

西部農林課

課長 石川 善啓

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	健康生きがい市民農園事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	健康生きがい市民農園事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	17～
--------	-----

農作物の栽培を通じて、市民相互の親睦、農作業に対する理解を深め、健康増進と収穫による消費生活安定の一助とするもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業内容
 特定農地貸付に関する農地法等の特例に関する法律の規定に基づき、市が行う農地貸付の実施及び管理運営を行うもの
 (1) 梓川やまと農園(梓川倭415) 17区画 (H28実績 利用区画数17)
 50㎡区画 3,000円/年額 75㎡区画 4,500円/年額
 (2) 波田ふれあい農園
 ・波多農園(波田10067-1)18区画 (H28実績 利用区画数17)
 75㎡区画 2,800円/年額
 ・町道農園(波田7074-1.2)29区画(うち1区画休耕)
 (H28実績 利用区画数28)
 75㎡区画 2,800円/年額
 ・島農園(波田2305-1)28区画 (H28実績 利用区画数27)
 75㎡区画 2,800円/年額

＜現状に対する認識＞

市民へ市民農園の周知を図り、空き区画が発生しないように努める。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A
------	---

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	利用区画数(区)				
目標値	91	91	91	91	91
実績値	89				
達成度	97.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	125				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	125				
② 人件費(千円)	570	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	570	0.2			
合計コスト①+②	695				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農村公園管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農村公園管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
農村地域のコミュニティーづくりを通じて地域農業の振興を図るため、農村公園の維持管理を行うもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容 農村公園の遊具の改修等工事並びに日常の維持管理及び遊具の点検を行うもの
2 農村公園 奈川地区 1カ所 梓川地区 5カ所 波田地区 1カ所
3 活動実績 ・遊具の日常点検、園内清掃及び樹木の剪定(委託) ・遊具更新及び安全設備設置

＜現状に対する認識＞

引き続き農村公園の維持管理等を行い、地域農業の振興に努める。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事故発生件数				
目標値	0				
実績値	0				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,320				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,320				
② 人件費(千円)	615	人工	人工	人工	人工
正規	615	0.08			
嘱託	0				
合計コスト①+②	2,935				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	中山間地域等直接支払推進事業
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	中山間地域等直接支払推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27～
中山間地域等における農業生産活動の維持と通じ、耕作放棄地発生防止、多面的機能を確保するとともに、平地地域との農業生産条件の均整を直接的に補正するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
中山間地域等直接支払交付金(国庫事業)【西部地区:奈川、波田地区】
1 事業内容 中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と、多面的機能を確保するため、集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動を行う農業者等の活動に対して交付金を支給するもの
2 補助内容 集落協定に位置づけられている農用地について、地目及び区分毎の交付金単価に対象面積を乗じる。 (1) 奈川地区協定集落 5集落(神谷、金原、黒川渡、古宿、田ノ萱地区) 交付申請面積 363,075㎡ 交付金額 5,453,868円 (2) 波田地区協定集落 1集落(中下原地区) 交付申請面積 21,240㎡ 交付金額 446,040円

＜現状に対する認識＞
各集落の耕作放棄地の発生が防止されている。また、水路や法面、農道など多面的機能も協定に基づく活動により確保されている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	中山間地域等直接支払交付金集落協定数				
目標値	6	6	6	6	6
実績値	6				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	国・県	5,900				
	利用者負担金	4,388				
	その他					
	一般財源	1,512				
② 人件費(千円)	正規	2,307	人工		人工	
	嘱託	0	0			
合計コスト①+②	8,207					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	西部地区農業振興関連施設管理
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	西部地区農業振興関連施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	25 ~
--------	------

- ・地場産業の振興と、地域の活性化を図る。
- ・農林業に従事する者の福祉の増進と、交流の促進を図る。
- ・市民福祉の増進と文化の向上を図る。
- ・地域に関する情報の発信と経済の活性化を図る。
- ・市民の交流促進と特産物の開発を通じ、農林業及び地域の活性化を図る。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 事業の内容
- 西部地区の農業関連施設の維持管理をするもの
- (1) 安曇番所農産物加工販売施設(そば処いがや)
 - (2) 安曇番所加工流通施設(ハム工房)
 - (3) 安曇島々農産物加工販売施設
 - (4) 安曇屋内交流広場(ゲートボール場)
 - (5) 安曇後継者集会施設
 - (6) 安曇稲核農産物加工販売施設(喜山路)
 - (7) 安曇風穴の里
 - (8) グレンパークさわんど
 - (9) ながわ山彩館
 - (10) 新規就農者技術習得管理施設
 - (11) 梓川麦・大豆等加工施設(味来せんたあ)
 - (12) 梓川農産物処理加工施設(ジュース加工施設)
 - (13) 梓川水田農産物処理加工施設(あずさ夢工房)
 - (14) 梓川地場産品直売センター
 - (15) 波田農産物加工販売施設(味工房はた)

＜現状に対する認識＞

西部地区には複数の施設があるため、松本市公共施設等総合管理計画に基づき「施設のあり方」について引き続き検討する。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	ながわ山彩館利用者数					
	目標値	800	800	800	800	800
	実績値	742				
	達成度	92.8%				
② 成果指標(指標名)	梓川水田農産物処理加工施設【あずさ夢工房】利用者数					
	目標値	200	200	200	200	200
	実績値	165				
	達成度	82.5%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	42,089				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	42,089			
② 人件費(千円)	16,805	人工	人工	人工	人工
	正規	15,380	2		
	嘱託	1,425	0.5		
合計コスト①+②	58,894				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農畜産物マーケティング推進事業
-------	-----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○松本産農産物のブランド化と販路拡大
基本施策(個別目標)	531	農産物高付加価値化の推進	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	松本版総合戦略	③	松本産品のブランド化

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農畜産物マーケティング推進事業

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27～31
地域の魅力ある地元産食材のブランド化を図り、生産・販売拡大等により地区の農業振興を図るとともに、地域振興を推進する。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 1 奈川産食材ブランド化推進事業
 - (1) 実施内容
 - ア 奈川在来そば、エゴマのPRイベントの開催などによる消費拡大
 - イ 奈川そばの生産拡大に向けた栽培技術の調査研究
 - ウ 奈川地区の食材を柱とした商品開発と高齢者の生きがいづくり
 - (2) 活動指標
 - 商品開発 奈川在来そばの作付け面積 130アール(H28実績87アール)
- 2 特産品ブランド化推進事業
 - (1) 実施内容
 - 「奈川保平かぶ」「安曇稲核菜」「安曇番所きゅうり」のブランド化の推進
 - ア 専門家の指導による種子の系統選抜、栽培技術の研修
 - イ うま味成分の分析・機能性成分検査結果による優位性のPRの実施
 - ウ 商品開発による消費拡大
 - (2) 活動指標
 - 伝統野菜の作付け面積の拡大 348アール(H28実績248アール)
- 3 地産地消地域支援事業
 - (1) 実施内容
 - 学校給食における地産地消の推進と児童、生徒の健康づくりのため発芽玄米を使用した米飯給食を実施。
 - (2) 活動指標
 - 従来の白米と麦を使用した場合との差額補てん(H28実績 1,432千円)

＜現状に対する認識＞

- 1 全国的に周知度を高めるため、「とうじそば」をはじめとする奈川産食材・食文化を地元の風土・文化と結びつけ、イメージアップを図り販売を促進する必要がある。
- 2 地元産地内の営業施設、近接する白骨温泉・上高地の施設においても提供されるよう努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	奈川在来そばの作付け面積(単位:アール)				
目標値	130	130	130	130	
実績値	87				
達成度	66.9%				
② 成果指標(指標名)	伝統野菜の作付け面積(単位:アール)				
目標値	348	348	348	348	
実績値	248				
達成度	71.3%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	9,190				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	9,190				
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	0				
合計コスト①+②	11,497				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	クラインガルテン関連施設管理
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	6 大胆な観光戦略を起爆剤として、活気ある地域経済を創出します
政策の方向(まちの姿)	3	松本ブランドを発信するまち		主な取組み	○新たな観光戦略の策定と政策展開
基本施策(個別目標)	533	戦略的な観光施策の推進	5つの重点目標	2	次世代を育むまちづくり
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	クラインガルテン関連施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	27～32
--------	-------

遊休農地の有効活用と豊かな自然、風土を守り、都市と農村の交流を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容

(1) 指定管理者制度による管理運営

ア 奈川地域内にある大原、神谷、入山の3箇所のクラインガルテンを地区ごとの指定管理者により管理運営している。

イ 指定管理者をととして、利用者への農業指導と地域で行われる行事への参加を促し、地域住民と利用者との交流を図っている。

(2) 指定管理料
8,170千円

(3) 指定期間
平成25年度～平成29年度

(4) 施設概要

大原クラインガルテン	35棟	
神谷クラインガルテン	18棟	
入山クラインガルテン	7棟	合計 60棟

2 活動指標
施設の利用者棟数 60棟 (H28実績 50棟)

＜現状に対する認識＞

1 宣伝広告及び誘客に係る事業等、効率的な管理運営が図られるよう3カ所の施設を、3団体から1団体に統合して管理するよう地元と調整を行った。

2 施設の利用率を高めるよう、指定管理者へ指導を行った。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	施設の利用者棟数(棟)					
目標値	60	60	60	60	60	
実績値	50					
達成度	83.3%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	15,876				
国・県					
利用者負担金					
その他	2,236				
一般財源	13,640				
② 人件費(千円)	1,538	人工	人工	人工	人工
正規	1,538	0.2			
嘱託	0				
合計コスト①+②	17,414				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農業者育成事業
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4 暮らしと生活の基盤づくり	
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者育成事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	25 ~
--------	------

新規就農者や認定農業者及び地域の団体等を支援することで、農業者育成を図る。また、耕作放棄地化を未然に防止することや、女性の農業への積極的な進出を促進するもの

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 農業者の育成を支援するもの
 - 新規就農者等支援事業補助金(補助率1/2以内 上限500千円)
経営が不安定な新規就農者に機械等の取得を支援し、新規就農者の育成を図る。(H28実績 3件 事業費 2,990千円 補助金額 1,373千円)
 - 認定農業者支援事業(補助率1/3以内 上限2,000千円)
意欲ある農業の担い手を育成するため、経営規模拡大や効率的な経営を目指す認定農業者に対して農業機械等のリース、取得及び修繕費用の一部を補助するもの。
(H28実績 7件 事業費 36,391千円 補助金額 9,936千円)
 - 経営体育成支援事業補助金(補助率3/10もしくは、融資額のうちのいずれか少ない額)
地域の中心となる経営体が融資を受けて導入する機械施設等の整備に要する経費に助成する国庫補助事業
 - 農業後継者組織育成強化事業補助金
(交付団体名:梓川農業青年会議 17人)
農業の社会的・経済的地位の向上と地域農業を活性化させるため、技術の研究、農業環境の改善等に取り組んでいる。
(H28実績 決算額 190千円)
 - 梓川女性フォーラム補助金(交付団体名:梓川女性団体連絡協議会)
心豊かな農村地域づくりと女性の社会参画について考え、活力ある地域づくりに貢献するもの(H28実績 来場者数 約100人 決算額 120千円)

＜現状に対する認識＞

今後も認定農業者等への積極的な支援を推進するとともに、将来の担い手として期待される女性農業者への支援を拡充する必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	認定農業者数(人)					
目標値	510	515	520	525	530	
実績値	491					
達成度	96.3%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	11,619				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	11,619				
② 人件費(千円)	3,219	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	143	0.05			
合計コスト①+②	14,838				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農村女性活動推進事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農村女性活動推進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～H28
農村女性の社会的地位向上と豊かな家庭・農村地域づくりを目的に女性農業者の育成・生活環境の整備・各種学習活動等の推進事業により、農村女性自らの社会参画意識の向上を図る。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 事業内容 奈川地区の「花豆の会」に女性農業者の活動促進事業等を委託するもの
2 委託内容 (1) 地区市民を対象とした食育の推進 (2) 直売所などを通じた地産地消の取組み・観光イベント、地区内外の行事参加により、特産品のPRに取り組む。 (3) 特色ある地域づくりへの参画 (4) 地区の状況に応じて、各種事業への協力 (5) 様々な機会を捉えて、関係者と懇談する場を設ける (6) 家族経営協定の推進に協力する (7) 地区市民を対象とした農村女性活動促進のための各種講座の開催・県及び市主催の農業施策関連企画などへの協力
3 委託料 80千円

＜現状に対する認識＞
農村女性自らによる主体的な活動が一定の成果を得たことから、平成28年度をもって委託による事業を廃止した。

＜指標の達成状況＞	総合評価	C			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	行事参加者数				
目標値	200				
実績値	100				
達成度	50.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	80					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	80					
② 人件費(千円)	285	人工	人工	人工	人工	人工
正規	0					
嘱託	285	0.1				
合計コスト①+②	365					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	遊休荒廃農地対策事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	3	経済の好循環の創出
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	遊休荒廃農地対策事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	17～
--------	-----

耕作放棄地の復旧及び有効活用を図るとともに、農業生産が行われることにより生じる多面的機能の発揮、地域の計画的な土地利用を推進させ、再活用の促進を図られる。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の内容
 農家の高齢化、後継者不足等により農家の遊休荒廃農地化が進み、病害虫の発生等、環境の悪化が懸念されている状況を受け、耕作放棄地の再生等を実施するものに対して支援するもの。
 (1) 市単独補助として、国の事業要件を満たさない農地について、農地の状況に応じ10アール当り35千円から70千円を補助
 (2) 国の荒廃農地対策事業に対し、事業費の1/10上乗せ補助 (H28実績 41アール 205千円)

＜現状に対する認識＞

遊休荒廃農地化の解消を図るため、引き続き国の荒廃農地等利活用促進交付金を活用した遊休荒廃農地再生及び再生農地における施設等補完整備事業等に対する補助金と合わせて、長期的な支援が必要である。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		C		
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	耕作放棄地解消面積(アール)					
目標値	80	80	80	80	80	
実績値	41					
達成度	51.3%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	205				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	205				
② 人件費(千円)	2,592	人工	人工	人工	人工
正規	2,307	0.3			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	2,797				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	地域営農システム推進事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	地域営農システム推進事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	17～
--------	-----

安心・安全な食料生産、住みよい環境づくり、地域の活性化を目指し、意欲ある農業者が農業を継続して行えるよう組織に対して支援を実施するもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

梓川営農支援センター事業(負担金) 【梓川地区】

1 事業内容
梓川地区の農業振興を図るため、組織に対して助成するもの
構成団体 JA他12団体 構成員 52人 地区農家組合数 19組織

2 活動指標

- 取り組み体制の充実
- 担い手の育成、集落営農の取組み
- 農業基本構想、水田農業ビジョンに沿った実践活動
- 優良農地保全と有効利用の促進
- 環境に優しい農業の推進と農村環境の整備運動
- 農産物の付加価値向上、地域農産物のPRと地域交流の促進

＜現状に対する認識＞

全国的に農家組合組織が衰退する中、組織体制を充実させ地区農家組合活動を支援することで、地域農業の持続的展開を図る。

＜指標の達成状況＞

総合評価		A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	梓川地区農家組合数					
目標値	19	19	19	19	19	
実績値	19					
達成度	100.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,630				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	2,630				
② 人件費(千円)	3,334	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	2,565	0.9			
合計コスト①+②	5,964				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林業有害鳥獣対策事業
-------	-------------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農林業有害鳥獣対策事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
野生鳥獣の適正個体数調整を行い、農林業被害の抑制を図るもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

1 事業の実施内容

- (1) 有害鳥獣駆除に伴う現場調査及び立会い業務
 - ・クマ、サル、イノシシ等鳥獣被害等現地調査及び猟友会との調整
 - ・クマ捕獲申請及び個体数調整等並びにパトロール
 - ・関係支所への注意喚起放送の依頼
- (2) 個体数調整業務委託
 - ・カモシカ個体数調整に係る現地調査等
- (3) 有害鳥獣駆除事業に関する事務
 - ・檻修繕料等

<現状に対する認識>

引き続き野生鳥獣の適正個体数調整を行い、農林業被害の抑制を図る。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	28				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	28				
② 人件費(千円)	1,923	人工	人工	人工	人工
	正規	1,923	0.25		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	1,951				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	森林造成事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	4	人にやさしい環境を保全し自然と共生するまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	自然を守り、育むまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	421	森林環境整備の推進	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	森林造成事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

市有林の整備を行うとともに、林業事業体が実施する森林造成事業に対して補助金等を交付するなど、森林機能の維持向上を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 森林造成事業
第7次松本市森林整備計画に基づき、10年間で4,400haの間伐を実施
(1) 市有林造成事業を委託
(国庫補助事業 補助率 国 40%、県30%)
(2) 私有林の整備に関する嵩上げ補助を実施
補助対象事業費の30%以内
- 官行造林地
官行造林契約地の国の持分を買取り、分収契約を終了させる。
(公有財産購入費)
- その他
森林の里親事業補助業務の委託(消耗品購入含む)並びに事業内容の調整及び当日作業(森林整備・都市との交流)

＜現状に対する認識＞

引き続き事業を実施し、森林機能の維持、向上を図る。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	市有林造成面積(ha)					
	目標値	0.1	12.8	13.4	13.6	18
	実績値	0.1				
	達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)	私有林造成嵩上げ補助金額(千円)					
	目標値	15,820	16,000	16,000	16,000	16,000
	実績値	17066				
	達成度	107.9%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	18,617				
	国・県	1,725			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	16,892			
② 人件費(千円)	5,383	人工	人工	人工	人工
	正規	5,383	0.7		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	24,000				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(波田植木まつり 等)
-------	----------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
--------	---

波田植木まつり：波田地区の特産品のPRと緑化・花いっぱい推進を図るもの
 中信地区水源林造林協議会：水源林事業の円滑な推進を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 波田植木まつり
 緑化・花いっぱいの推進に係る、苗木無料配布費用を負担
 負担金 80,000円(苗木 200本相当)
 (1) 主催 波田植木まつり実行委員会
 (2) 共催 松本市波田商工会工業部会庭園緑化部、松本市波田観光協会
 (3) 協賛 恋人の丘サラダマーケット、味工房はた
 (4) 開催時期 5月下旬の土日(2日間)

2 中信地区水源林造林協議会
 負担金 26,400円
 中信地区内の(独)森林総合研究所農地整備センターと分収造林契約を結んだ市町村、財産区等で構成され、会員及び関係機関との連絡協同により、水源林造林事業の円滑な推進を図る。

＜現状に対する認識＞

波田植木まつり
 ・来場者には一定の良い評価を得ているが、自宅庭等の緑化等検討しているが相談先が分からない人等への効果的な広報について検討が必要。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		A		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	波田植木まつり来場者数					
	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
	実績値	1,500				
	達成度	150.0%				
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	106				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	106			
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工
	正規	77	0.01		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	183				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業施設管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	林業施設管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
林業関連施設の適切な維持管理を行い、利用者の利便性向上を図るもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 林業者研修宿泊施設
 - 事業の実施内容
奈川林業者研修宿泊施設の維持管理を行うもの
 - 施設の概要
宿泊施設 2棟 (単身用2戸、世帯用3戸)
集会施設 1棟
- 黒川林道通行管理
 - 事業の実施内容
ゲート鍵管理(鍵貸出し等)を民間に委託し、林道の通行を適正に管理するもの

＜現状に対する認識＞

近年は、道路網の整備等により入居者が減少しているため、今後施設のあり方について検討が必要。

＜指標の達成状況＞

総合評価		D				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	林業者研修宿泊施設への入居者数					
目標値	5	5	5	5	5	
実績値	1					
達成度	20.0%					
② 成果指標(指標名)						
目標値						
実績値						
達成度						

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	183				
国・県					
利用者負担金					
その他	144				
一般財源	39				
② 人件費(千円)	77	人工	人工	人工	人工
正規	77	0.01			
嘱託	0				
合計コスト①+②	260				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林道維持管理
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	林道維持管理費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
安全な道路状態を確保するため、林道の補修及び整備を行うもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 林道維持管理事業 林道の維持管理を行い、通行の安全を確保するもの
2 業務内容 (1) 林道維持管理業務 ・林道奈川安曇線(AB線)の維持管理業務委託 ・A線冬期閉鎖解除に伴う除雪清掃業務委託 ・林道除草業務委託(奈川地区12路線、安曇地区 4路線) ・奈川安曇線他10路線の補修整備工事

＜現状に対する認識＞

自然条件等による林道施設の老朽化、破損等が増加しているため、林道施設の適正な管理のため、引続き各種整備を行う。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	事故発生件数				
目標値	0	0	0	0	0
実績値	0				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	39,023				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	39,023				
② 人件費(千円)	4,700	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	43,723				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	林業振興事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	林業振興事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
森林病害虫から森林を守り、森林環境の保全を図るもの	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 業務の実施内容	松くい虫被害拡大防止のため、被害木のパトロール等を行うもの
2 業務内容	(1) アカマツ枯損木の確認パトロール (2) 枯損木の検体サンプルの収集及び県への検査依頼
3 平成28年度 業務実績	(1) パトロールの実施 52回 (2) 検体サンプル採取本数 36本

＜現状に対する認識＞

松くい虫被害のまん延を防止するため、引き続き事業を継続する。

＜指標の達成状況＞

	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	松くい虫被害拡大防止のためのパトロール実施回数 (回)				
目標値	52	52	52	52	52
実績値	52				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	136				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	136				
② 人件費(千円)	1,624	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	855	0.3			
合計コスト①+②	1,760				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	県単林道事業
-------	--------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	県単林道事業費

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜事業の狙い＞	事業計画年度	H17～
森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線B線の整備を行うもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 林道奈川安曇線(B)線改良事業 林道奈川安曇線(B線)の改良・舗装工事を行うもの 延長 L=6, 240m
2 平成28年度実績 法面改良工事 L=67m
3 財源 (1) 工事請負費: 県60%、過疎債40% (2) 測量設計、監督補助委託: 過疎債100%

＜現状に対する認識＞
乗鞍高原から白骨温泉を結ぶ幹線林道だが、落石や舗装面の痛みが多く、施設も老朽化しているため、引き続いて整備を促進し、通行車両の安全を確保に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	整備延長(m)				
目標値	80	60	60	60	60
実績値	67				
達成度	83.8%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	8,240				
国・県	4,617				
利用者負担金					
その他	3,600				
一般財源	23				
② 人件費(千円)	3,076	人工	人工	人工	人工
正規	3,076	0.4			
嘱託	0				
合計コスト①+②	11,316				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	補助林道整備事業
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	7 人と環境に配慮して、地域特性を生かした都市基盤を整備します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○地域公共交通の維持と利用促進
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	②	高次広範の観光戦略

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	補助林道整備事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	H17～
--------	------

森林施業の効率化と観光資源の有機的なネットワークを確保するため、林道奈川安曇線の整備を行うもの。

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 事業の実施内容及び事業実績

(1) 林道奈川安曇線改良事業

ア 事業実施内容
林道奈川安曇線の改良、舗装工事を行うもの。

イ 平成28年度事業実績
林道奈川安曇線A線 法面改良工事 L=48m

(2) 林道奈川安曇線トンネル延命化事業

ア 事業実施内容
老朽化している林道奈川安曇線B線の蛭窪トンネルの延命化工事を行うもの。

イ 平成28年度事業実績
平成28年度 詳細調査 L=573m

(3) 林道奈川安曇線橋梁延命化事業

ア 事業実施内容
老朽化している林道奈川安曇線A線の白樺橋の整備の検討

2 補助事業名 農産漁村地域整備交付金

3 財源

(1) 工事請負費:国50%、県1%、過疎債49%

(2) 測量設計、監督補助委託:過疎債100%

＜現状に対する認識＞

奈川地区から乗鞍高原、白骨温泉を結ぶ幹線林道だが、落石や舗装面の痛みが多く、施設も老朽化しているため、引き続いて整備を促進し、通行車両の安全を確保に努める。
また、整備を促進するための財源確保が課題。

＜指標の達成状況＞

総合評価		C				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
① 成果指標(指標名)	林道整備延長 (m)					
目標値	118	210	330	330	330	
実績値	48					
達成度	40.7%					
② 成果指標(指標名)	トンネル調査・整備延長 (m)					
目標値	573	285	288			
実績値	573					
達成度	100.0%					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	36,709				
国・県	18,175				
利用者負担金					
その他	11,500				
一般財源	7,034				
② 人件費(千円)	7,690	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	44,399				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農産物生産振興対策事業
-------	-------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農産物生産振興対策事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	17～32
--------	-------

- そば関係農機具、乾燥機等の保管・作業施設として利用し、そばによる地域振興を図るもの
- JA松本ハイランドが行う波田ライスセンター乾燥調製施設整備事業について、国、市の補助金を交付するもので、施設整備を行うことにより作業効率をアップさせ労働時間の短縮と利用面積の増加を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 奈川そばコンバイン等格納施設賃借料 予算額308千円
 - 事業内容
 - そば関係農機具、乾燥機等の保管・作業施設として利用し、そばによる地域振興を図る。
 - 機械化による高齢者等の作業負担の軽減・荒廃農地拡大の防止と復元を図る。
 - 活動指標
 - そば栽培が可能な農地面積 40ha (H28年実績 27ha)
- 強い農業づくり交付金事業(波田ライスセンター乾燥調製施設整備事業) 国庫補助(強い農業づくり交付金補助率1/2以内)
 - 事業主体 松本ハイランド農業協同組合
 - 事業内容 波田ライスセンターの乾燥機、色彩選別機等の改修 荷受施設(荷受2系列2ホッパー)、乾燥施設(乾燥機10t×2基、7t×2基増設)、糲摺・色選施設(色彩選別機1基)、集塵施設湿式集塵装置1基、集塵ファン1基
 - 年間処理量 1,100t
 - 予算額(決算額:平成28年度 6月補正予算計上)
 - 事業費 275,076,000円
 - 補助金 115,670,000円(内訳:国 94,964,000円、市 20,706,000円)

＜現状に対する認識＞

- 荒廃農地の拡大防止と復元を図るには、継続的な取組みが必要である。
- 米の乾燥調整作業、荷受け作業の効率化、労働環境の改善が図られた。

＜指標の達成状況＞

		総合評価		B		
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	そば栽培が可能な農地面積(ha)					
	目標値	40	40	40	40	40
	実績値	27				
	達成度	67.5%				
② 成果指標(指標名)	波田ライスセンター乾燥調製施設整備事業工事進捗率(%)					
	目標値	100%				
	実績値	100%				
	達成度	100.0%				

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	115,978				
	国・県	94,964			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	21,014			
② 人件費(千円)	2,307	人工	人工	人工	人工
	正規	2,307	0.3		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	118,285				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	負担金(梓川園芸特産振興協議会等)
-------	-------------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	負担金

＜事業の狙い＞

事業計画年度	17～
--------	-----

梓川地域の野菜、果物の特産品の振興を図るため、部門ごとの問題を整理し需要の動向に即した生産性の向上と、適地適産による主産地形成のため、組織に対して支援を実施するもの

- ＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
- 梓川園芸特産振興協議会(負担金) 【梓川地区】
 - 野菜特産振興 (試験実証ほ場の設置 1箇所)
 - そ菜共進会への参加
 - 有害鳥獣駆除への協力
 - うまいだもの推進対策梓川実践本部(負担金) 【梓川地区】
 - 生産安定対策
交配蜂の利用及び導入(ツツハナバチ・ミツバチの利用)
 - 品質向上及び栽培技術対策
りんごモンパ病対策
 - 栽培規模拡大対策
 - もも新品種導入対策
・基幹品種である「大玉あかつき」を中心に園地の若返り
 - ぶどう大粒種結実確保対策
・ストマイ液剤を散布し、無核果率の向上とジベ処理の回数の軽減
 - 新興果樹栽培対策
・ミツバチを利用し、受粉対策を講じ結実の確保
 - なし栽培技術対策
・購入花粉を用い、人工授粉を行い南水の結実確保
 - 有害鳥獣被害対策
「フジワン粒剤」による、野そ忌避効果試験

＜現状に対する認識＞

産地形成に対して、継続的な組織の支援(育成)は必要である。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	対策試験(試験数)				
目標値	8	8	8	8	8
実績値	8				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	150				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	150				
② 人件費(千円)	143	人工	人工	人工	人工
正規	0				
嘱託	143	0.05			
合計コスト①+②	293				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	畜産振興
-------	------

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	畜産振興費

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標	
—	—	—		松本版総合戦略	

＜事業の狙い＞	事業計画年度	17～32
放牧飼育できる場所の提供等により畜産振興を図り、農林業・観光の振興と 荒廃地の拡大防止を促進することにより、地域振興へ繋げる。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

1 赤田沢牧場賃借料
(1) 事業内容 市が牧場用地を国から借受け(有)山岳牧畜研究会へ貸出し、 高品質な乳製品等の加工、ブラウンスイス種を広大な草地で放 牧飼育できる場所の提供する。
(2) 活動指標 施設規模による飼育可能頭数 35頭 (H28年度実績 27頭)
2 畜産環境リース貸付料助成事業補助金
(1) 事業内容 畜産業振興及び環境整備を図るため、家畜排せつ物処理施設の 整備に係る融資又は賃借料に対し、補助をする。 対象農家数:1件 補助終了年:平成29年度 融資額及びリース料の年1.5%以内
(2) 実績 H28年度 2件

＜現状に対する認識＞

近年酪農家の減少に伴い放牧牛が減少している。このため継続的な支援を行 うことにより、放牧牛の増加を図る。

＜指標の達成状況＞	総合評価	B			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	施設規模によるブラウンスイス種(乳牛)の飼育可能頭数				
目標値	35	35	35	35	35
実績値	27				
達成度	77.1%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	415				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	415				
② 人件費(千円)	1,439	人工	人工	人工	人工
正規	1,154	0.15			
嘱託	285	0.1			
合計コスト①+②	1,854				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	多面的機能支払交付金事業
-------	--------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	○農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	4	暮らしと生活の基盤づくり
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	多面的機能支払交付金事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	26 ~
--------	------

地域が共同で農地・水路等施設の維持管理、農村環境の向上に関する取り組み及び農業施設等の長寿命化への取組を行い地域の農業振興に努めるもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取り組む地域活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上に資する活動に対して支援するもの(対象農地 農振農用地区域内の農地)

- 農地維持支払
農地・水路の法面の草刈り、泥上げ等の地域資源の保全・管理活動への支援: 田3,000円、畑2,000円、草地240円(10a当り)
平成28年度実績値 取組組織数 11組織、取組面積 943.42ha
- 資源向上支払(共同活動)
水路、農道等の軽微な補修や植栽などの環境保全活動への支援
田2,400円、畑1,440円、草地240円(10a当り)
平成28年度実績値 取組組織数 3組織、取組面積 170.73ha
- 資源向上支払(長寿命化)
老朽化した水路、農道などの施設の補修・更新への支援
田4,400円、畑2,000円、草地400円(10a当り)
平成28年度実績値 取組組織数 4組織、取組面積 575.71ha
- 事業区域 安曇、奈川、梓川、波田4地区
- 負担割合 国50%、県25%、市25%

＜現状に対する認識＞

- 活動組織にあっては、高度な事務処理能力が求められており、事務処理者の確保に苦慮している組織もあり、事務処理の簡略化等の意見を国等へ伝えていくことに努める。
- 事務処理者の確保対策として、集落単位の組織から、広域組織への移行の検討を要している。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	取組目標面積(農地維持支払面積を基準:ha)				
目標値	943	1,195	1,202	1,210	1,217
実績値	943				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	44,622				
国・県	33,466				
利用者負担金					
その他					
一般財源	11,156				
② 人件費(千円)	9,115	人工	人工	人工	人工
正規	7,690	1.0			
嘱託	1,425	0.5			
合計コスト①+②	53,737				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	単独耕地事業
-------	--------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	松本版総合戦略		

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	単独耕地事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
安曇・奈川・梓川・波田4地区の農道・排水路等老朽化した農業用施設の施設改修を行い農業の経営安定を図るもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 土地改良施設管理事業 豪雨時の農業用水路の排水路への排水管理を土地改良区へ委託するもの (1) 委託先 波田堰土地改良区(北原排水施設)
2 市単工事事業 老朽化した農道・排水路等の施設の改修を行うもの (1) 農道整備 4カ所 111m (2) 排水路整備 15カ所 208m (3) その他(浚渫等) 6カ所
3 市単原材料 農道等の軽微な補修に係る原材料費
4 農業用水路・排水路の維持管理に係る経費を負担するもの (1) 黒川堰土地改良区負担金 (2) 長尾堰維持管理負担金 (3) 安曇野・松本行政事務組合負担金
5 土地改良区等団体が行う農業用施設の整備に対し補助するもの (1) 整備箇所 11カ所 (2) 補助率 事業費の60%

＜現状に対する認識＞
農業用施設の維持管理等を通じて農業経営の安定に努める。

＜指標の達成状況＞	総合評価				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	25,498					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	25,498					
② 人件費(千円)	4,415	人工	人工	人工	人工	人工
正規	3,845	0.5				
嘱託	570	0.2				
合計コスト①+②	29,913					
前年度比	—					

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	農林漁業資金償還事業
-------	------------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農林漁業資金償還事業費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～ 35
--------	------

土地改良事業の施工により、農業生産基盤の整備を行い、農業の有する多面的機能の発揮を図るとともに、安定した営農基盤の確立を図るもの

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

土地改良事業施行にあたり、財源の一部として借り入れた農林業資金の償還分に対する補助金交付事業。

- 県営ほ場整備事業償還金補助(三郷南部地区)
 - 償還期間:平成35年度まで
 - 補助金額 33千円
- 波田土地改良事業償還金補助
 - 償還期間:平成31年度まで
 - 補助金額 7,371千円
- 安曇野広域排水事業償還金補助
 - 償還期間:平成32年度まで
 - 補助金額 18,795千円

＜現状に対する認識＞

以前に実施した土地改良事業の償還金に対する補助であり、償還が終了するまで補助する必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	償還計画表による償還金補助負担額(千円)				
目標値	26,210	25,710	24,650	22,920	18,830
実績値	26,199				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	26,199				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	26,199				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	26,968				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

事務事業名	団体営土地改良事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約 主な取組み	公約	8 積極的に再生可能エネルギーの導入を図り、質の高い生活環境づくりを進めます
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		○新エネルギー戦略による経済と地域の活性化	
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承		5つの重点目標	5 将来世代のためのハード整備
—	—	—	松本版総合戦略	⑦再生可能エネルギーを活用した暮らしと経済の活性化	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	団体営土地改良事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	27 ~ 29
自然エネルギーから得られた収益により、農業用施設の維持管理を行い安定的な農業経営を維持するもの		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
土地改良区が実施する農業水利施設を活用した小水力発電施設整備事業に費用負担をするもの
1 事業主体 長野県梓川土地改良区
2 総事業費 500,000千円 (負担割合:国50%、県5%、市22.5%、土地改良区22.5%)
3 事業年度 平成27年度～平成29年度
4 事業区域 波田地区
5 事業内容 小水力発電施設整備 5カ所 (平成27年度 1カ所、平成28年度 2カ所、平成29年度 2カ所)

＜現状に対する認識＞
事業の進捗状況は計画のとおり実施されている。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	小水力発電施設設置数				
目標値	3	5			
実績値	3				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞					
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	270,000				
国・県	148,500				
利用者負担金	60,750				
その他					
一般財源	60,750				
② 人件費(千円)	769	人工	人工	人工	人工
正規	769	0.1			
嘱託	0				
合計コスト①+②	270,769				
前年度比	—				

事務事業評価票

事務事業名	県営土地改良事業
-------	----------

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	県営土地改良事業費

部局名	農林部	課名	西部農林課	課CD	06160000
-----	-----	----	-------	-----	----------

<第10次基本計画の位置付け>			<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	4 国の基である農林業を守り、女性や新規の担い手を支え、販路を拡大します
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち		主な取組み	〇農業を支える女性や担い手への感謝と支援
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標	5	将来世代のためのハード整備
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<事業の狙い>

事業計画年度	19 ~ 32
--------	---------

豪雨時の溢水被害防止対策や県営事業で整備した畑地帯のかんがい配水施設が老朽化し、漏水や破管により営農に支障をきたしているため、県営土地改良事業により施設の再整備等を行い、農業用水の安定供給と維持管理経費の軽減、安定した営農基盤の確立を図るもの

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 1 県営 かんがい排水事業(梓川右岸地区:波田)
 - (1) 総事業費 3,105,000千円
(負担割合:国50%、県25%、市25%)
 - (2) 事業年度 平成19年度~平成32年度
 - (3) 事業内容 排水路整備 3,152m
 - (4) 平成28年度末進捗率 16%(事業費基準)
- 2 県営 畑地帯総合整備事業(下原地区:波田)
 - (1) 総事業費 935,020千円
(負担割合:国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
 - (2) 事業年度 平成22年度~平成28年度
 - (3) 事業内容 畑地かんがい施設受益地面積 123ha
農道整備4,600m
 - (4) 平成28年度末進捗率 100%(事業費基準)
- 3 県営 畑地帯総合整備事業(中下原平林地区:波田)
 - (1) 総事業費 1,660,000千円
(負担割合:国50%、県25%、市12.5%、地元12.5%)
 - (2) 事業年度 平成25年度~平成32年度
 - (3) 事業内容 畑地かんがい施設受益地面積 130ha
排水路整備3,880m、
農道整備1,160m、農地改良5ha
 - (4) 平成28年度末進捗率 29%(事業費基準)

<現状に対する認識>

事業完了年度を設定しているが、国の事業費予算配分に伴い完了年度の延長もありうる。

<指標の達成状況>		総合評価		A				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度		
① 成果指標(指標名)	県営かんがい排水事業 排水路工事延長(m)							
	目標値	887	1,401	1,810	2,368	3,152		
	実績値	1,095						
	達成度	123.4%						
② 成果指標(指標名)								
	目標値							
	実績値							
	達成度							

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	95,000				
	国・県	71,250			
	利用者負担金				
	その他				
	一般財源	23,750			
② 人件費(千円)	4,614	人工	人工	人工	人工
	正規	4,614	0.6		
	嘱託	0	0		
合計コスト①+②	99,614				
前年度比	—				

農業委員会事務局

事務局長 窪田 京子

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農業委員活動
-------	--------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農業委員活動費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
優良農地の確保と遊休荒廃農地の解消及び地域農業の振興を図るもの	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

- 農業委員会等に関する法律により設置された委員会で総会、協議会、部会、役員会、委員会等を開催する。
(H28年開催実績 総会4回、協議会8回、農地部会12回、農業振興部会12回、各委員会19回)
- 農地法に基づく農地転用の許認可業務を行う。
- 農業政策に関する市長意見書の提出、広報活動、農業者の育成等農業振興に関することの協議を行う。

<現状に対する認識>

H30年8月に予定される農業委員会の新体制への移行に備え、準備を進める。

<指標の達成状況>

		総合評価				
区分		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)	目標値					
	実績値					
	達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	3,618				
	国・県				
	利用者負担金				
	その他				
一般財源	3,618				
② 人件費(千円)	34605	人工	人工	人工	人工
	34,605	4.5			
	0				
嘱託					
合計コスト①+②	38,223				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農業者年金事務
-------	---------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み				
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農業者年金事務費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
農業者の老後の生活の安定と福祉の向上を図るもの。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 独立行政法人農業者年金基金から委託を受けた農業者年金に関する事務を行う。
- 松本市農業者年金協議会と共に農業者年金の加入推進活動を行う。
(H28年実績 松本市新規加入者 15人)

・農業者年金協議会負担金
松本市及び市内3農協で構成する協議会。各種会議、研修会の開催や加入推進を図る活動を実施。(370千円)

＜現状に対する認識＞

若手農業者の減少による新規加入対象者の確保が難しくなっている中で、さらに地域一丸となって、加入対象者の抽出と加入推進を図る必要がある。

＜指標の達成状況＞

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	農業者年金新規加入者				
目標値	11				
実績値	15				
達成度	136.4%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	692				
国・県					
利用者負担金					
その他	251				
一般財源	441				
② 人件費(千円)	6,921	人工	人工	人工	人工
正規	6,921	0.9			
嘱託	0				
合計コスト①+②	7,613				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農業委員会事務局
-------	----------

＜第10次基本計画の位置付け＞				＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞			
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約			
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取り組み				
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標				
—	—	—	—	松本版総合戦略			

＜予算上の位置付け＞

会計名	一般会計
予算中事業名	農業委員会事務局費

＜事業の狙い＞

事業計画年度	～
農業者へ農業の情報を的確に提供し、周知を図る。	

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞

- 「農業委員会だより」を年2回発行する。
- 農業委員会定例会総会、部会等の会議録を作成しホームページで公表する。

- 長野県農業会議負担金
農業委員会等に関する法律に基づき構成された法人。農地法に関する各種審議、答申及び調査研修を実施。(769千円)
- 松塩筑安曇農業委員会協議会負担金
松本地域振興局管内における農業委員会の統括組織。管内の審査基準統一や各業務の調整を実施。(1,248千円)
- 19市農業委員会協議会負担金
19市農業委員会長、主管課長で組織。農業委員会業務の実務研修、農業振興に関わる活動や調査を実施。(10千円)
- 女性農業委員の会負担金
(一社)長野県農業会議の下部組織。県内女性農業委員に対する活動支援や研修会を実施。(6千円)

＜現状に対する認識＞

農業委員会だより、ホームページの内容の充実を図り、農業者でない方へも広く農業について情報を提供し、関心を深めてもらうよう努める。

＜指標の達成状況＞

総合評価		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					
② 成果指標(指標名)						
	目標値					
	実績値					
	達成度					

＜コスト一覧＞

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	4,288				
	国・県	274			
	利用者負担金				
	その他	285			
	一般財源	3,729			
② 人件費(千円)	6,152	人工	人工	人工	人工
	正規	6,152	0.8		
	嘱託	0			
合計コスト①+②	10,440				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	農地台帳整備事業
-------	----------

<第10次基本計画の位置付け>				<市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け>	
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

<予算上の位置付け>

会計名	一般会計
予算中事業名	農地台帳整備事業費

<事業の狙い>

事業計画年度	～
農業委員会が法令業務を行うための基礎資料として使用するため。	

<事業の実施内容及び活動指標(実績値)>

農家の営農状況、農地の利用状況の管理を行う。

<現状に対する認識>

平成27年4月より稼働している「全国農地ナビ」と本市の農地台帳とを並行運営していく中でその課題と方針を検討していく。

<指標の達成状況>

総合評価	A				
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	農地台帳整備面積(ha)				
目標値	8,387				
実績値	8,387				
達成度	100.0%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

<コスト一覧>

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	349				
国・県					
利用者負担金					
その他					
一般財源	349				
② 人件費(千円)	6,921	人工	人工	人工	人工
正規	6,921	0.9			
嘱託	0				
合計コスト①+②	7,270				
前年度比	—				

事務事業評価票

部局名	課名	農業委員会事務局	課CD	16100000
-----	----	----------	-----	----------

事務事業名	地銀行活動促進事業
-------	-----------

＜第10次基本計画の位置付け＞			＜市長公約・重点目標・総合戦略の位置付け＞		
まちづくりの基本目標	5	魅力と活力にあふれにぎわいを生むまち	市長公約	公約	
政策の方向(まちの姿)	2	産業の活力を生み、伸ばすまち	主な取組み		
基本施策(個別目標)	521	農林業の振興と美しい農山村の継承	5つの重点目標		
—	—	—	—	松本版総合戦略	

＜予算上の位置付け＞	
会計名	一般会計
予算中事業名	農地銀行活動促進事業費

＜事業の狙い＞	事業計画年度	～
農家の経営規模拡大や農地の有効利用を図るもの。		

＜事業の実施内容及び活動指標(実績値)＞
1 (一社)松本農業開発センターを中心とした農地銀行をととして、規定に基づき、農地利用集積を行い、農地の貸し借りの調整や管理をする。
2 農地パトロール(利用状況調査)を行い、調査結果を基に遊休農地と判断された農地の所有者に対し、利用意向調査を行う。さらに、再生利用困難と判断された農地について、非農地判断を行う。
・長野県農地情報管理センター負担金 長野県農業会議内にある組織。農地の貸借、売買に関する情報の集積と管理をし、情報を提供する。(1,109千円) *H29年度より脱退

＜現状に対する認識＞
農業従事者の減少や、高齢化等による遊休農地の増加、山麓沿いの遊休農地の山林化等課題は多く、その解消に向けた対応を検討していく。

＜指標の達成状況＞	総合評価	A			
区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 成果指標(指標名)	遊休農地解消面積				
目標値	44				
実績値	66.4				
達成度	150.9%				
② 成果指標(指標名)					
目標値					
実績値					
達成度					

＜コスト一覧＞	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
① 事業費(千円)	2,966					
国・県						
利用者負担金						
その他						
一般財源	2,966					
② 人件費(千円)	6,921	人工	人工	人工	人工	人工
正規	6,921	0.9				
嘱託	0					
合計コスト①+②	9,887					
前年度比	—					